

長浜市 文化芸術振興ビジョン

令和4年（2022年）3月

長浜市

■目次

第1章 ビジョン策定の趣旨	-----1
第2章 策定の背景	-----2
1)長浜市の成り立ち	
2)本市の社会的状況の変化	
3)国の動向	
4)滋賀県の動向	
第3章 長浜市文化芸術振興ビジョンについて	-----6
1)本ビジョンの位置づけ	
2)本ビジョンの期間	
3)対象とする文化芸術の範囲	
第4章 長浜市の文化芸術に関する現状	-----9
1)これまでの経緯	
2)文化芸術事業の取組状況	
3)市内の文化ホールの状況	
4)文化ホール以外の文化施設等の状況	
第5章 現状からみた文化芸術活動の問題や課題	-----20
1)文化芸術活動をする上での問題や課題	
2)求められていること	
第6章 本ビジョンの基本的な考え方	-----23
1)めざす将来像	
2)ビジョンの基本方針	
3)SDGs(持続可能な開発目標)の観点	
第7章 具体的な取組	-----26
1)将来像の実現や基本方針の達成に向けて	
【つくる】市民の誰もが親しめる長浜らしい文化芸術の創造	
【育てる】文化芸術感覚の醸成	
【支える】市民や文化芸術団体の主体的な活動の支援	
【つなぐ】文化芸術により人や地域等がつながるコミュニティの形成	
2)具体的な取組	
3)重点的に取り組むこと(重点プロジェクト)	
第8章 本ビジョンの推進体制	-----44
1)文化芸術に関わる活動主体とその役割	
2)ビジョンの評価	
3)ビジョンの普及・啓発方法	
資料	-----46

第1章 ビジョン策定の趣旨

文化芸術は、私たちの心に潤いや安らぎ、「豊かさ」を与え、人生に感動と活力をもたらすとともに、感性や創造力を育み、地域や社会生活、さらに観光や産業、福祉、教育等のあらゆる場面で効果的に活用され、経済活動や地域社会の発展につながる大きな要素となっています。

優れた文化芸術との出会いは、人生において生きがいや糧となり、芸術に親しむ心は、個性や自分らしさといった自己表現や自己成長、自己肯定感を高めます。また、文化芸術に触れることで、私たち市民は元気に輝き、地域には活気と新たな魅力が生まれ、郷土への愛着(シビックプライド)につながります。

新型コロナウイルス感染症の拡大で、外出や活動の自粛など人と人の交流が制限されたことにより、孤独感や閉塞感、希薄感といった心配や不安が生じました。しかし一方で、文化芸術が私たちの生活に必要不可欠であることを改めて感じさせるきっかけともなりました。

このようなことから、市民や文化芸術団体など文化芸術に関わる関係機関が、共通した方向性をもち、連携して、本市の文化芸術のすそ野を広げ、文化芸術による魅力あるまちづくりを進めることで、市民生活の充実と地域のさらなる活性化を図ることを目的に、「長浜市総合計画」に掲げる「新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち長浜」の実現に向けた「長浜市文化芸術振興ビジョン」(以下、「本ビジョン」という。)を策定します。

第2章 策定の背景

1)長浜市の成り立ち

滋賀県の東北部に位置する本市は、平成18年(2006年)と平成22年(2010年)の2度の合併により、現在の「長浜市」となりました。周囲に伊吹山系などの山々と琵琶湖が広がり、豊かな湖北平野に姉川や高時川、余呉湖、水鳥が集う湖岸風景など、県内でも優れた自然環境を有しています。また、戦国ロマンの舞台となった小谷城跡や賤ヶ岳、姉川の古戦場、竹生島、観音文化、おこないなどの数多くの歴史的・文化的資源に恵まれた地です。

長浜は、古くから渡来文化や近代産業を取り入れる「進取の気性」に満ち、「十人衆」などに代表されるように住民自治による町衆の力を原動力に、商業や産業が発展してきました。文化芸術の分野においても、長浜曳山まつりや富田人形などの伝統文化が、市民の力により、今日まで大切に守り受け継がれています。加えて、黒壁ガラスや「長浜芸術版楽市楽座アート・イン・ナガハマ」、「芸術村 in 余呉」の開催など、長浜独自の文化芸術の取組も盛んに行われてきました。

2)本市の社会的状況の変化

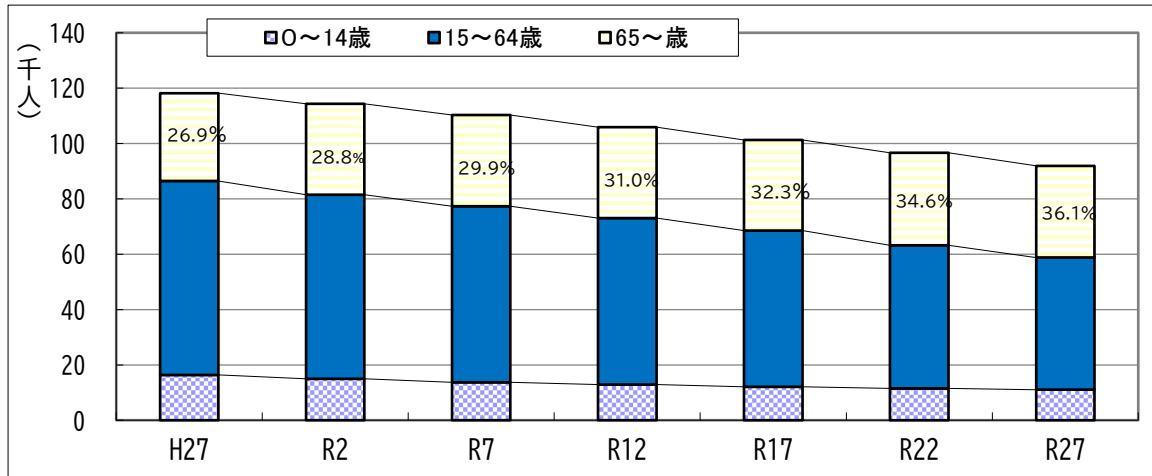
①人口減少・少子高齢化の進行

本市は、平成22年(2010年)1月の合併時には126,436人であった総人口が、令和3年(2021年)6月時点で116,245人と、この11年半で1万人以上の人口が減少するなど、「長浜市人口ビジョン」(令和2年3月策定)の想定を上回る推移で人口減少が進んでいます。とりわけ、若年世代の市外転出傾向が顕著にみられます。

平成27年(2015年)国勢調査に基づく本市の人口推計によると、令和12年(2030年)には総人口105,864人、令和22年(2040年)は96,642人となることが推定されており、深刻な人口減少傾向が続くことが予測されています。また、65歳以上の人口は32,961人と34.6%を占め、超高齢社会<注1>が今後も続くことが予測されます。

<注1>超高齢社会・・・65歳以上の人口が全人口の21%を占めている社会。
なお、7%で「高齢化社会」、14%で「高齢社会」とされる。

■年齢別将来推計人口（長浜市統計書 令和元年度版より）



（推計方法：国立社会保障・人口問題研究所推計に準拠）

人口減少とそれに伴う少子高齢化は、地域コミュニティの衰退やまちの活力低下など、市民の暮らしを支える地域社会・経済システムの維持・存続に多大な影響を及ぼすことが危惧されます。文化芸術の分野においても、担い手や後継者不足を不安視する声があがっています。

本市が、これからも多様性を保ちつつ持続可能なまちであり続けるためには、市民が安心して住み続けたいと思えるまち、すなわち「選ばれるまち」であることが必要です。そのためには、地域資源を活かした新たな文化芸術の発信など、文化芸術の力を人々の生きがいや地域の魅力づくりに積極的に活用していくことが求められます。

②新型コロナウイルス感染症拡大の影響

新型コロナウイルス感染症の出現は、世界中の人々のライフスタイルを一変させました。外出や営業の自粛、また学校等の臨時休業などにより、地域経済や市民生活、子どもたちの教育環境等に甚大な影響が生じました。文化芸術の分野においても、感染症拡大防止のために、多くの演奏会等の公演や展示会が中止・延期になり、多くのアーティストが活動の場や収入を失う状況となりました。

本市でも、文化ホールをはじめとする公共施設の閉鎖や学校の休校、部活動の中止等の対応が必要となったことから、市民の文化芸術活動の中断を余儀なくされました。一方で、感染症拡大防止のための環境整備等を進め、感染対策備品の配備や映像配信設備等の設置、団体活動の再開活動支援を行いました。今後も、文化芸術活動と社会経済活動の維持と感染症対策の両立を図りながら、with コロナ期、ポストコロナ期を見据え、これまでとは異なる取組も進めていく必要があります。

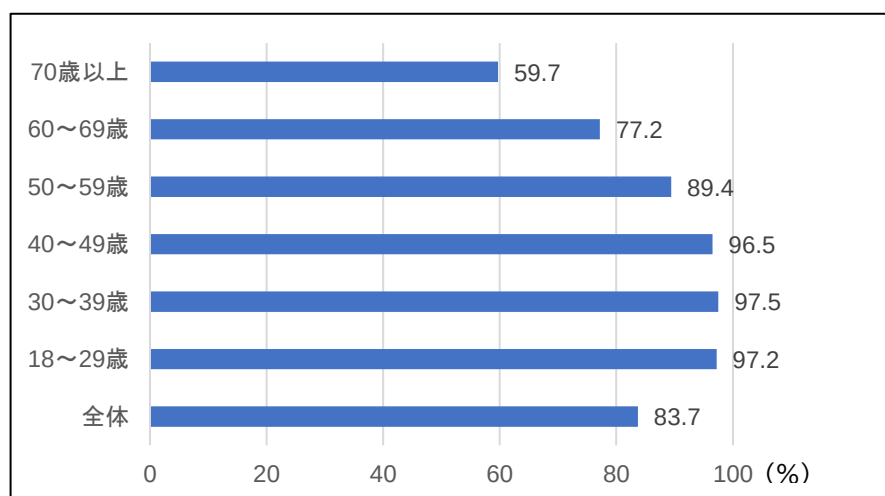
③情報化社会の進展と技術革新

インターネットや SNS 等の情報通信技術の急速な発展と普及は、情報の受信や発信を容易にし、私たちの生活に大きな利便性をもたらしています。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、オンライン形式など、通信技術を活用した新たなコミュニティツールも急速に普及しました。

文化芸術の分野でも、映像のオンライン配信による鑑賞等が普及するなど、これまでの表現や鑑賞方法に新たな流れが生まれてきたことにより、映像配信だけでは伝わらない、舞台公演の臨場感や生音のすばらしさが再認識され、舞台鑑賞自体の価値も上がっています。

本市においては、スマートフォンの所有率が全世代で 83%を超え、18 歳から 29 歳までの若者世代では 97.2%、30 歳から 39 歳においては 97.5%と非常に高い状況です。また 70 歳代以上の高齢者層においても 60%近くが所有し、全世代で高い普及状況がみられます。スマートフォンの利用等、誰もが簡単に情報を得られる現状であることを活かし、文化芸術をはじめとする様々な情報の発信やデジタル化の推進が求められます。

■スマートフォンの所有率（令和 2 年度長浜市民意識度調査より）



3)国の動向

国は、「文化芸術振興基本法」を平成 29 年(2017 年)に改正し、法律名を「文化芸術基本法」に改めました。この法律の中で、文化芸術を創造し、享受することが人々の生まれながらの権利であることに鑑み、国民がその年齢、障害の有無、経済的な状況又は居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができるような環境の整備が図らなければならないと定めています。加えて、少子

高齢化やグローバル化の進展など社会の状況が著しく変化する中で、文化芸術分野のみの振興にとどまらず、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野の施策を法の範囲に取り込むことで、文化芸術によって生み出される様々な価値を、文化芸術の継承、発展及び創造につなげていくことの必要性が明示されました。また、同法では、地方公共団体にも各地域の実情に即した文化芸術に関する計画(地方文化芸術推進基本計画)の策定努力や文化芸術に関する施策の策定及び実施も規定しています。

一方、平成 30 年(2018 年)に公布施行された「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」では、「文化芸術基本法」や障害者の自立及び社会参加を支援する基本理念を定めた「障害者基本法」にのっとり、障害者による文化芸術活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、文化芸術活動を通じた障害者の個性と能力の発揮や社会参加の促進を図ることが記されています。

また、平成 24 年(2012 年)には、「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律」が策定されました。この中で、劇場、音楽堂等は、文化芸術を継承し、創造し、及び発信する場であり、人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点であるとし、潤いと誇りを感じることでできる心豊かな生活を実現するための場として機能しなくてはならないと示しています。

4) 滋賀県の動向

滋賀県では、文化振興施策の総合的な推進を図り、心豊かで潤いのある県民生活および個性豊かで活力にあふれる地域社会の実現に寄与することを目的として、平成 21 年(2009 年)に「滋賀県文化振興条例」が施行されました。以降、社会情勢の変化等に合わせ「滋賀県文化振興基本方針」を定め、令和 3 年(2021 年)には、基本目標を「文化芸術の力で心豊かな活力ある滋賀を創る」とした「滋賀県文化振興基本方針(第 3 次)」が策定されました。

また、令和 2 年(2020 年)には、「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」に基づく、「滋賀県障害者文化芸術活動推進計画」を策定し、多様な人びとが支えあうことにより、障害の有無にかかわらず誰もがともに、多彩な文化芸術活動に親しみ、活躍する環境の実現が図られています。さらに、令和 2 年(2020 年)の琵琶湖博物館や、令和 3 年(2021 年)の県立美術館におけるリニューアルオープンなど、県民の文化芸術等への体験機会の充実が進められています。

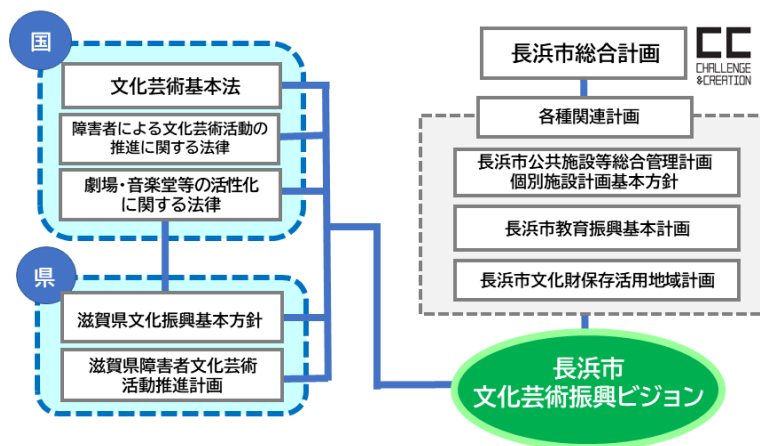
*本ビジョンでは、「障害」と「しょうがい」を使い分けて表記します。
法律や条例等の引用を行う際は、引用する法律等の表示に合わせて「障害」としますが、それ以外の場合は「しょうがい」と表記します。

第3章 長浜市文化芸術振興ビジョンについて

1)本ビジョンの位置づけ

本ビジョンは、「長浜市総合計画(＃1)」の個別方針として位置づけ、国や滋賀県の計画等の動向を踏まえるとともに、「長浜市公共施設等総合管理計画」「長浜市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画」(＃2)や「長浜市教育振興基本計画(＃3)」、「長浜市文化財保存活用地域計画(＃4)」をはじめとする各種関連計画等との整合を図ります。

さらに、本市の文化芸術振興の基本となる方針であることから、「文化芸術基本法」に規定された地方文化芸術推進基本計画として位置づけます。



2)本ビジョンの期間

令和4年(2022年)4月から令和14年(2032年)3月までの10年間です。

なお、策定後5年を目途に、社会情勢の変化等を踏まえ適切に見直しを行います。

3)対象とする文化芸術の範囲

文化芸術基本法等に定める文化芸術の中で、次の文化芸術を対象とします。

芸術	文学・音楽・美術・写真・演劇・舞踊 その他の芸術(メディア芸術を除く)
メディア芸術	映画・漫画・アニメーション・コンピュータ その他の電子機器等を利用したメディア芸術
伝統芸能	雅楽・能楽・文楽・歌舞伎・組踊 その他の我が国古来の伝統的な芸能
芸能	講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱 その他の芸能(伝統芸能を除く)
生活文化等	茶道・華道・書道・食文化・国民娯楽・出版物 等
地域における文化芸術	各地域における文化芸術の公演・展示・芸能祭 等 地域固有の伝統芸能・民俗芸能

【参考】-----

#1 長浜市総合計画 〔平成29年(2017年)策定〕

期間:平成29年度～令和8年度

めざすまちの姿:新たな感性を生かし みんなで未来を創るまち 長浜

キャッチフレーズ:「Challenge & Creation」

本市の長期的なまちづくりの方針を示した計画です。人口減少・少子高齢化等の諸問題を克服するため、長浜で暮らし、学び、働く人々がそれぞれ夢と希望を抱き、めざすまちの姿の実現に向けて最大限に力を発揮できるまちづくりを推進しています。

文化芸術分野については、「次代の文化を担う子どもの育成のため、文化芸術体験や発表の機会充実」や「文化芸術を活かした魅力あるまちづくりを進めるため、人材や団体の育成と活動の拠点づくりの推進」、「新たな長浜の文化芸術の創造のため、若者による芸術活動への積極的な支援」を基本方針として掲げています。

#2 長浜市公共施設等総合管理計画

長浜市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画基本方針

〔令和2年(2020年)改定〕 期間:平成27年年度～令和6年度

基本方針:未来の長浜市民に よりよきものを引き継ぐ

市内の公共施設整備について、延床面積を削減して、本市の公共施設等の適正配置を進めるとしています。文化ホールについては、「個別施設計画基本方針」において長浜文化芸術会館と浅井文化ホールの2館は当面現状維持、その他の文化ホールに関しては、まちづくり施設等への用途の見直しや再編等を進める方針を打ち出しています。

◆文化ホールの個別施設計画基本方針

長浜文化芸術会館・浅井文化ホール当面現状維持

びわ文化学習センター・虎姫文化ホール・湖北文化ホール
木之本スティックホール・余呉文化ホール用途の見直し・再編

#3 長浜市教育振興基本計画 〔第3期:令和3年(2021年)策定〕

期間:令和3年度～令和7年度

基本方針:つながりあい、学びあい、豊かに生きる人づくりをめざす ながはま

文化芸術分野については、「文化芸術の鑑賞の充実と創作・発表・交流活動への支援」と「文化施設の活用と文化芸術団体との連携・協力」を具体的施策として掲げています。

#4 長浜市文化財保存活用地域計画〔令和 3 年策定〕

期間:令和 4 年度～令和 13 年年度

文化財の保存目標を「地域の光を未来へつなぐ 歴史文化都市・長浜」として、令和 2 年 3 月に策定された「長浜市歴史文化基本構想」を踏まえ、本市内に存在する文化財を指定・未指定に関わらず広く広域的に把握し、生涯学習や学校教育、観光振興、地域づくり等に活用し、市民と協働にて守り育てる具体的な措置や期間等について示しています。

第4章 長浜市の文化芸術に関する現状

1)これまでの経緯

①ソフト面の主な経緯

合併以前より、旧長浜市民会館での大型公演をはじめ、オーケストラコンサートや伝統文化公演など、数々の鑑賞型事業が行われてきました。また、各地域の文化ホールや公民館(現:まちづくりセンター)での文化祭や「長浜芸術版楽市楽座アート・イン・ナガハマ」等、市民による文化芸術事業も盛んに行われてきました。

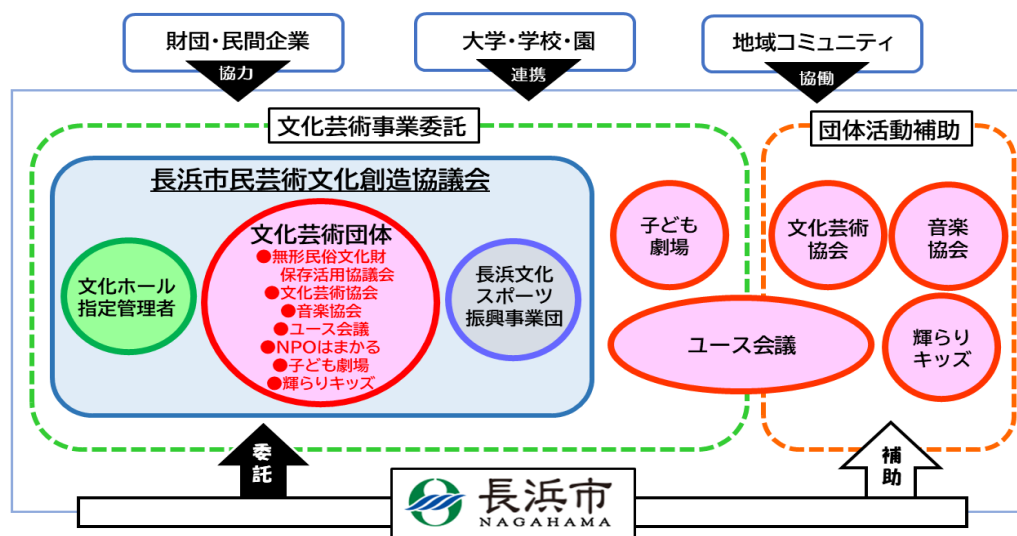
文化芸術団体の活動では、「長浜市文化芸術協会(＃5)」や「長浜音楽協会(＃6)」が設立されたことにより組織的な活動も活発になり、市全体の文化芸術が底上げされ、「長浜市少年少女合唱団輝らりキッズ(＃7)」や「長浜文化芸術ユース会議(＃8)」、「子ども劇場推進会議(＃9)」など若い世代や子どもたちを対象とした活動も盛んとなりました。

また、本市がヤンマー株式会社の創始者山岡孫吉翁の出身地であるご縁から、一般財団法人山岡記念財団との共催による次世代育成事業など、民間企業や財団、大学等と連携した取組も行われています。

平成31年(2019年)には、市内の文化芸術団体と文化ホール管理者にて組織された共同体的組織「長浜市民芸術文化創造協議会(＃10)」が設立され(のちに長浜文化スポーツ振興事業団も加入)、現在、長浜市の文化芸術事業の主軸を担っています。

施策面では、平成21年(2009年)末に、合併後の本市の文化芸術振興の指針として「長浜市文化芸術にかかる基本方針(＃11)」を策定し、以降10年間の文化芸術や伝統文化等の発展と文化芸術を活用したまちづくりの方針を示しました。

■長浜市の文化芸術活動の現体系



②ハード面の主な経緯

合併以前に、旧町の文化芸術の拠点として、地域に相次いで文化ホールが建設されました。また、平成 18 年(2006 年)に、「長浜文化芸術会館」が滋賀県から本市へ移管されています。長浜地域で、当時最多の客席数があった旧長浜市民会館は、平成 20 年(2008 年)に老朽化により閉館しましたが、合併により、平成 22 年(2010 年)には 8 つの文化ホールを所有しました。

このため、各文化ホールの利活用を図ることを目的に、平成 24 年(2012 年)に「長浜市文化ホール有効活用計画(#12)」を策定し、「選択と集中」を基本原則とした市内のホールの役割分担と効率的な活用方法を示し、平成 25 年(2013 年)に、旧西浅井文化ホールを西浅井公民館(現:西浅井まちづくりセンター)に用途変更しています。

平成 30 年(2018 年)初旬には、本市の文化ホールのあり方を検討する必要性の高まりから、新ホールの建設条件等を協議するため、「長浜市文化ホールあり方懇話会」を開催し、懇話会の意見集約として、翌年 4 月に「長浜市文化ホールあり方懇話会報告書(#13)」が提出されました。

このような経緯を踏まえ、本市の将来を見据え、文化芸術の発展と活動の場である文化ホール等の活用方針について、文化芸術振興をソフトとハードの両面から検討し、文化芸術に関わる市民や文化芸術団体などの関係機関が、方向性を共有し、連携しながら取組を進めていくために、本ビジョンの策定を行うことになりました。

年	主な経緯		
	ソフト面	ハード面	
S24	○「長浜市美術展覧会」はじまる	長浜市民会館建設 長浜文化芸術会館建設(当時は県施設)	
S40			
S50			
S55			「公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団」設立
S56			○「市民音楽のひろば」(現:長浜音楽祭)はじまる
S59			「長浜市少年少女合唱団輝らりキッズ」設立
S62			
S63			○長浜芸術版楽市楽座「アート・イン・ナガハマ」はじまる
H2			「長浜音楽協会」設立
H8			
H10	木之本スティックホール建設(旧木之本町) 浅井文化ホール建設(旧浅井町) 虎姫文化ホール建設(旧虎姫町) 余呉文化ホール建設(旧余呉町) びわ文化学習センター建設(旧びわ町) 湖北文化ホール建設(旧湖北町)		
H11			
H12			
H15		○関西フィルハーモニー管弦楽団「リラックスコンサート」公演はじまる	
H18		市町合併(長浜市・浅井町・びわ町)	
H20	長浜文化芸術会館 県から移管(大幅改修を実施) 指定管理者制度の導入 長浜市民会館閉館 長浜文化芸術会館のリニューアル開館		
H21	長浜市文化芸術振興にかかる基本方針策定		
H22	市町合併(長浜市・虎姫町・湖北町・高月町・木之本町・余呉町・西浅井町)		
H23	「長浜市文化芸術協会」設立	合併により文化ホールが8カ所になる	
H24	○「倭—YAMATO—」和太鼓公演がはじまる ○「芸術村 in 余呉」はじまる(～H26)	長浜市文化ホール活用検討委員会開催(～H24) 長浜市文化ホール有効活用計画策定	
H25		旧西浅井文化ホールを公民館に用途変更 (現:西浅井まちづくりセンター)	
H27	長浜市文化芸術振興にかかる基本方針改定		
H28	「長浜文化芸術ユース会議」設立 「子ども劇場推進会議」設立	長浜文化芸術会館の大幅改修	
H29	○京都精華大学とのアート交流事業はじまる		
H30	○一般財団法人山岡記念財団主催「大植英次指揮者による中学・高校吹奏楽部公開レッスン＆コンサート」はじまる	長浜市文化ホールあり方懇話会の開催(～H31)	
H31	「長浜市民芸術文化創造協議会(芸文協)」設立 市の文化芸術推進事業を「芸文協」へ委託	長浜市文化ホールあり方懇話会報告書提出	
R2	長浜市文化芸術推進会議の開催(～R4)		
R4	長浜市文化芸術振興ビジョン策定		

【参考】-----

#5 長浜市文化芸術協会〔設立:平成22年(2010年)〕

長浜市内で伝統芸能や生活文化など、幅の広い文化芸術活動を行っている団体です。舞台交流祭や地域の文化祭など、市民が主役となる事業を行っています。

#6 長浜音楽協会〔設立:平成2年(1990年)〕

市内で音楽活動を推進している団体です。オーケストラや吹奏楽をはじめ、合唱、ギターサークルなどの団体が所属しています。協会の事業としては、音楽コンサートやアウトリーチ事業<注2>を行っています。

#7 長浜市少年少女合唱団「輝らりキッズ」〔設立:昭和59年(1984年)〕

市内の小中学生で組織された合唱団です。年1回定期公演の他に、市内外の様々なイベントに出演しています。

#8 長浜文化芸術ユース会議〔設立:平成28年(2016年)〕

文化芸術活動を行う、40歳までの若手アーティストたちで組織されています。舞台創作活動や交流事業、アウトリーチ事業、若者世代の人材育成事業など様々な事業を展開しています。

#9 子ども劇場推進会議〔設立:平成28年(2016年)〕

市内で、人形劇やペープサート<注3>などの活動を行っている団体です。人形劇講座の開催やアウトリーチなどの事業を行っています。

#10 長浜市民芸術文化創造協議会（＝芸文協）〔設立:平成31年(2019年)〕

長浜市内で活動する文化芸術団体と文化ホール指定管理者、公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団にて組織されている、長浜市の文化芸術事業を主軸となつて推進する共同体組織です。オーケストラ公演や伝統文化公演などの鑑賞型事業や次世代育成事業、市民創造事業など、様々な事業を進めています。

<注2>アウトリーチ事業…プロのアーティストや地域で伝統芸能・文化芸術活動を行う人が、学校や福祉施設等に出向き、出張でワークショップや体験教室、演奏活動を行う事業。

<注3>ペープサート…紙人形劇のこと。ペープサイドとも言う。

#11 長浜市文化芸術振興にかかる基本方針

〔平成21年(2009年)12月策定 平成27年(2015年)11月改定〕

計画期間:平成21年度～平成30年度

基本理念: ふるさとの文化を継承し 新たな文化を創造して
人々が輝き 誇りがもてるまちづくりをめざします

市民と行政の協働により、文化芸術および地域固有の伝統文化等の新たな発展と振興を図るとともに、文化芸術のもつ力を活用したまちづくりに向けた積極的な取組の指針として策定しました。

#12 長浜市文化ホール有効活用計画 〔平成24年(2012年)6月策定〕

計画期間:平成24年度～平成26年度

基本原則: 選択と集中

個性・特色をもったそれぞれの文化ホールの相互連携の中で、施設ごとの役割分担を明確にした管理運営を行うとともに、より効果的・効率的な文化芸術事業を展開していくとして、文化ホールの活用方法を示しました。見直しの成果として、旧西浅井文化ホールを西浅井公民館(現:西浅井まちづくりセンター)へ用途変更しています。

#13 長浜市文化ホールあり方懇話会報告書 〔平成31年(2019年)4月提出〕

平成30年(2018年)初旬、メインホールである長浜文化芸術会館において漏水や排水不良等の施設不具合が多発したことから、早急な対応が求められ、新ホール建設の必要性や条件について検討を行うために、学識者や施設利用者から意見を聴取する場として「長浜市文化ホールあり方懇話会」を開催しました。翌年、平成31年(2019年)4月、市長に対し、懇話会での意見を取りまとめた「長浜市文化ホールあり方懇話会報告書」が提出されましたが、同時期に、同館の施設不具合が一定程度解消し、緊急的な事態は解消されています。

2)文化芸術事業の取組状況

本市の文化芸術事業は、長浜市民芸術文化創造協議会を中心に、大阪フィルハーモニー交響楽団によるオーケストラコンサートや「倭—YAMATO」和太鼓公演、演劇などの鑑賞型事業、「長浜市美術展覧会」や市民オペラ公演といった市民文化創造事業、「中学校吹奏楽祭」、「中高生えんげき CAMP!」などの次世代育成事業など様々な事業を行っています。

特に、次世代育成事業では、小中学校へアーティストが出向いて公演やワークショップを行うアウトリーチ事業や、一般財団法人山岡記念財団との共催による中学・高校吹奏楽部を対象とした音楽活動推進事業、長浜文化芸術ユース会議や長浜市少年少女合唱団輝らりキッズへの活動支援など、子どもや若者たちの文化芸術体験や活動機会の創出を積極的に推進しています。

他にも、「長浜芸術版楽市楽座アート・イン・ナガハマ」や「アール・ブリュット作品展」、落語会の開催など市民が主体となって実施されている事業や、長浜市文化芸術協会や長浜音楽協会などの文化芸術団体による活動も活発に行われています。

○鑑賞型事業

文化ホール等にて、オーケストラコンサート等の音楽公演や、演劇、伝統芸能などの舞台公演を実施し、市民の鑑賞機会を創出する事業。

○市民文化創造事業

市民の創作活動や市内の文化芸術団体等の活動の発表の場や、市民主体の文化芸術活動が行える場を創出する事業。

○次世代育成事業

次代を担う子どもや若者たちが、幼少期から文化芸術に触れ、積極的な活動を行うことにより、豊かな創造力と感性が育まれることを目的に、アウトリーチや人材育成を行うなど、文化芸術の体験や鑑賞機会等を創出する事業。

3)市内の文化ホールの状況

現在、市内には合併以前に整備された文化ホールが7施設あります。どのホールも、地域の文化芸術団体の活動や各町主催の式典やイベント等数多く開催されていました。

しかし、合併と同時に市の主催行事等も集約されていることや、利用可能な施設の選択肢が増えたため、ホールの利用に偏りがみられます。

ホールの規模からみると、客席数が200席から500席までと、小中規模であることから、興行型公演などは収支の採算が見込めず、人気アーティストの公演等は招致が難しい

状況です。利用用途の面では、説明会や講演会といった文化ホールにある高機能な舞台照明等を必要としない事業で多く利用され、設備の機能レベルと利用実態が見合っていないホールもあります。

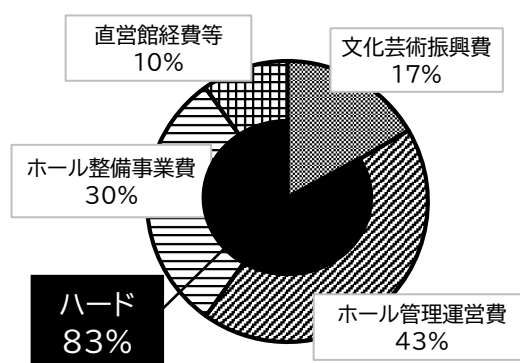
また、どの文化ホールも築年数が20年以上経過し、特に長浜文化芸術会館は令和4年時点で47年を迎え、老朽化が進んでいます。このため、各ホールの音響や照明等の付帯設備の点検など、日常的なメンテナンスにかかる経費だけでなく、施設や設備の修繕などの施設の維持にかかる経費が増大化し、ホールの管理運営や整備維持(修繕)を合わせたハード面の経費が本市の文化芸術事業費を非常に圧迫しています。さらに、文化ホールの音響や照明等の設備は、定期的な大規模な機器更新を行う必要があり、今後も7施設を文化ホールとして維持し続けるには、より高額な経費が必要となることから、財政面の負担がさらに深刻な状況となっています。



■文化芸術関連予算(令和2年度決算)

(千円)		
ソフト	文化芸術振興費	30,205
ハード (施設管理費)	ホール管理運営費	78,867
	ホール整備事業費	55,073
	直営館経費等	17,211
文化芸術関連費 合計		181,356

(*ホール管理運営費と直営館経費等は固定管理料)



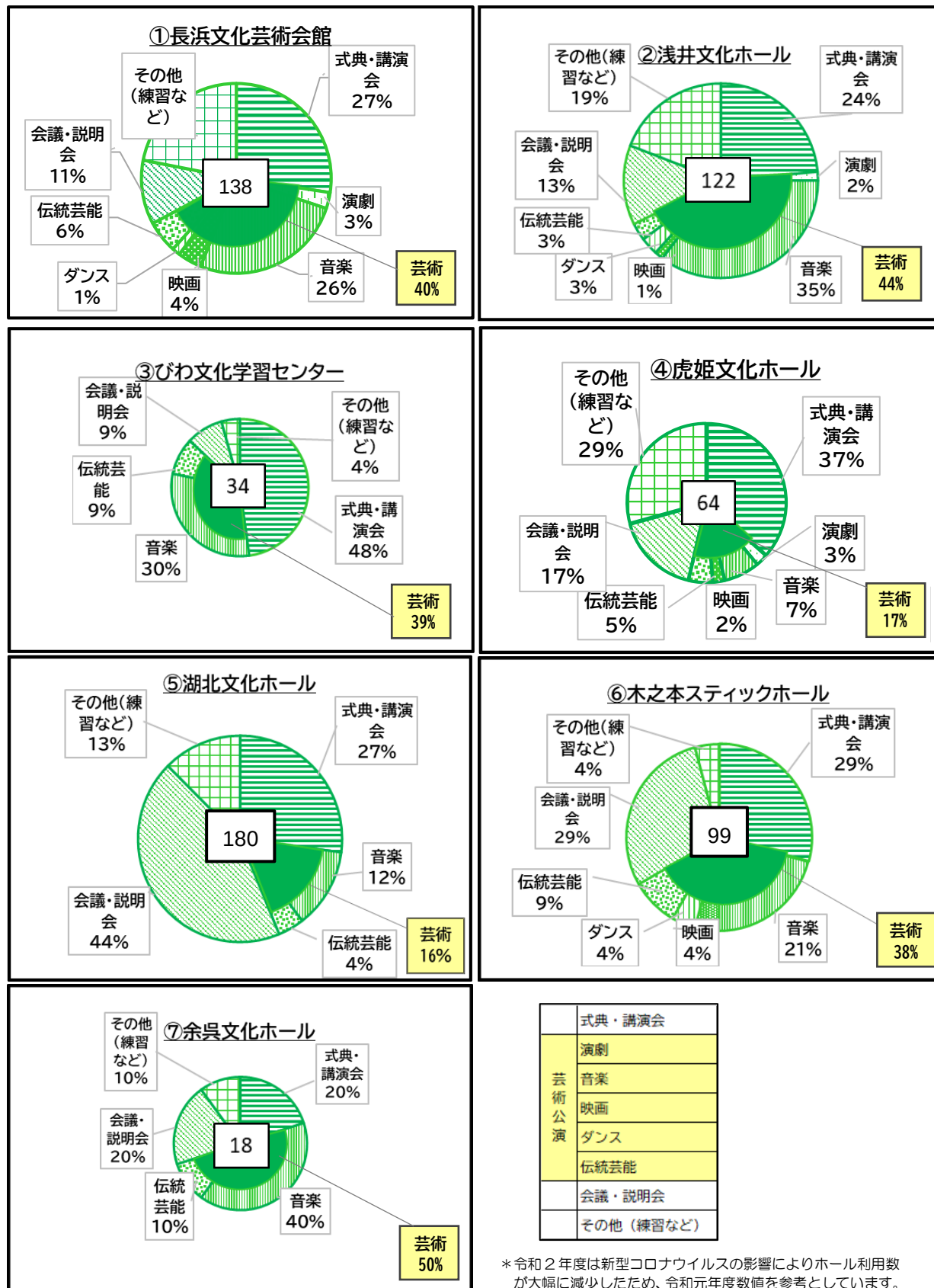
■文化ホールの現状

施設名称 〔管理形態〕		席数	ホール稼働率		特 徴	課 題 (施設管理者・利用者の意見)
		建築年度				
		経過年 (R4 時点)	H30	R1		
①	長浜文化 芸術会館 〔指定管〕	456(固定)	44.2%	44.8%	○演劇や式典・講演・伝統芸能公演向き ○照明設備充実 ○最寄駅(長浜駅)から 0.9km ○豊公園に共用の大型駐車場あり	●反響板がないため音の響きが悪い(生音不向き) ●舞台袖が狭い ●舞台袖までユニバーサルデザインになっていない ●客席扉が一重のため音漏れ光漏れあり ●専用駐車場がない
		S50 年				
		築 47 年				
②	浅井文化 ホール 〔指定管〕	483(固定)	43.5%	39.6%	○音楽公演向き (音の響き比較的良好) ○舞台袖・ホワイエ広い ○共用駐車場あり	●フラッターエコーあり ●空調騒音あり ●客席扉が一重のため音漏れ光漏れあり ●最寄駅(虎姫駅)から 4.5km
		H8 年				
		築 26 年				
③	びわ 文化学習 センター 〔直営〕	300(固定)	10.6%	11.0%	○演劇向き(富田人形等) ○舞台袖(下手)・ホワイエ広い ○舞台まわり設備充実(袖花道・舟底舞台・控室) ○共用駐車場あり ○複合施設(びわ支所)	●反響板を設置すると舞台がかなり狭くなる ●音響設備ノイズあり ●最寄駅(虎姫駅)から 4km
		H11 年				
		築 23 年				
④	虎姫文化 ホール 〔直営〕	288(固定)	27.6%	17.8%	○式典・講演会向き ○共用駐車場あり ○複合施設 (虎姫支所・虎姫図書館・ デサービス施設)	●舞台袖・舞台奥行き狭い ●空調騒音あり ●客席扉が一重のため音漏れ光漏れあり ●最寄駅(虎姫駅)から 1.6 km
		H8 年				
		築 26 年				
⑤	湖北文化 ホール 〔指定管〕	312(可動)	82.0%	61.0%	○舞台・客席が可動のため多目的室として利用可能 (舞台公演以外の利用多い) ○最寄駅(河毛駅)から 0.8km ○共用駐車場あり ○複合施設(湖北まちづくりセンター・湖北図書館)	●舞台袖が狭い ●専用楽屋なし ●可動椅子が階段状収納型で揺れがひどく不安定 ●舞台床が光沢仕上げのため照明反射・ハレーションあり
		H12 年				
		築 22 年				
⑥	木之本 スティック ホール 〔指定管〕	300(固定)	9.2%	27.6%	○最寄駅(木ノ本駅)から 0.6 km ○共用駐車場あり	●舞台袖が狭い ●音響騒音あり ●設備が老朽化
		H2 年				
		築 32 年				
⑦	余呉文化 ホール 〔直営〕	231(固定)	11.5%	5.3%	○音楽公演向き (音の響き良好) ○共用駐車場あり ○複合施設(図書室)	●舞台袖が狭い ●建物に木材が多く使用のため腐食・シロアリ被害あり ●立地環境による浸水被害あり ●最寄駅(余呉駅)から 2.6 km
		H10 年				
		築 24 年				
計		2,322 席	31.0%	28.8%		

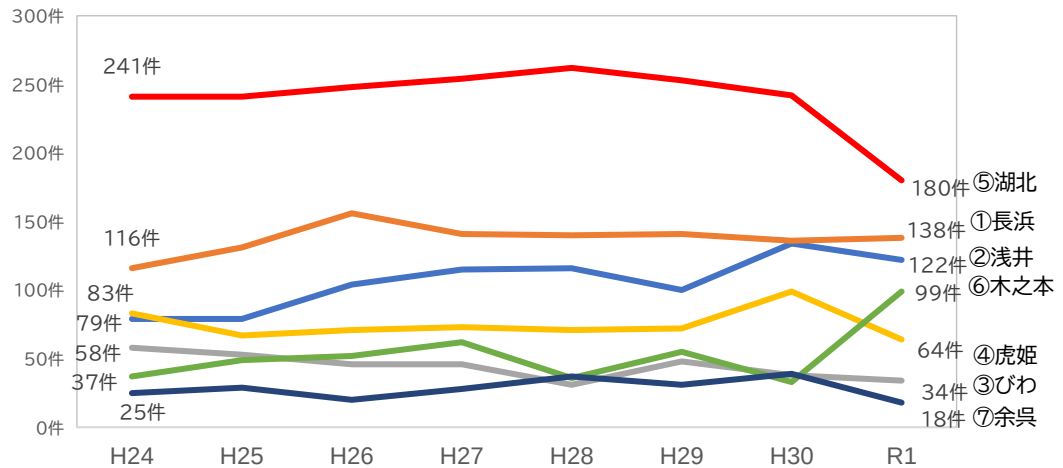
* 令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響によりホール利用数が大幅に減少したため参考数値としていません。

* 余呉文化ホールは、令和 4 年度から直営化

■文化ホール 利用用途実績（R1 年度）



■文化ホール ホール利用実績の推移



* 令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響によりホール利用数が大幅に減少したため参考数値としていません。

4)文化ホール以外の文化施設等の状況

①まちづくりセンター

市民の文化芸術の身近な活動場所としては、市内に 19 施設ある「まちづくりセンター」も、文化ホールとともに重要な役割を担っています。まちづくりセンターは、文化ホールと比べると利用料金も安価で、多くの市民や団体に利用され、日常的な市民活動の場として需要が高いことがわかります。

19 施設あるまちづくりセンターのうち 8 施設が、平成 23 年(2011 年)以降に建替えや大規模改修がされていますが、なかには老朽化が顕著な施設もあります。

■文化ホールとまちづくりセンターの比較

	文化ホール	まちづくりセンター
施設数	7	19
年間利用件数 (R1)	655件(ホール) 2,715件(諸室)	20,154件
休館日	①長浜 祝日の翌日、年末年始	長浜 火曜、年末年始
	②浅井 月曜、祝日の翌日、年末年始	神照・南郷里・北郷里・ 西黒田・神田・六荘・ 湯田・田根・下草野・ 七尾・上草野・びわ・ 西浅井 月曜、第1・3日曜、 祝日、年末年始
	③びわ 年末年始	
	④虎姫 年末年始	
	⑤湖北 火曜、祝日、年末年始	虎姫・木之本 日曜、祝日、年末年始
	⑥木之本 月曜、年末年始	湖北 火曜、祝日、年末年始
	⑦余呉 水曜、祝日、年末年始	高月・余呉 月曜、祝日、年末年始
利用料金	通常料金 大ホール：(長浜・浅井) 3,360円/時間 (びわ・虎姫・木之本) 2,450円/時間 (湖北・余呉) 1,520円/時間 *入場料1,000円未満・市内在住者の場合 *附帯設備等の使用料別途あり 諸室：200円～2,040円/時間 (諸室によって異なる)	主な料金区分 ・多目的ホール 300～710円/時間 ・会議室、和室等 100～300円/時間 *市内在住者の場合
	特別対応 ○市・指定管理者が主催・共催する事業に使用する 場合／料金の1/2 ●市外・入場料金が1,000円を超える場合 ／料金2倍	○市・指定管理者が主催・共催の場合／免除 ○市内団体が公益・地域貢献を目的として使用する 場合(登録団体の承認が必要)／免除 ○市長が特に必要と認める場合／免除 ●市外・営利目的の場合／料金2倍

*令和2年度は新型コロナウイルスの影響により施設利用数が大幅に減少したため令和元年度数値を参考としています

②その他の施設

まちづくりセンター以外にも、市内には生涯学習施設など文化芸術イベントの開催可能な施設があります。

■その他の市内公共施設(生涯学習施設・スポーツ施設等)

	建設年度	設備	座席数
長浜市民交流センター	H1年	ふれあいホール	
長浜市勤労青少年ホーム 「長浜サンパレス」	S57年		
長浜勤労者総合福祉センター 「臨湖」	S63年	多目的ルーム	231席(可動式)
長浜伊香ツインアリーナ	R2年	アリーナA 冷暖房完備	907席(固定・折畳)
長浜市民体育館	S54年		
長浜バイオ大学ドーム	H4年	ドーム型施設	1762席

公共施設以外でも、民間の小劇場や舞台、レンタルスペースなど、様々な場で文化芸術活動が活発に行われています。

第5章 現状からみた文化芸術活動の問題や課題

1)文化芸術活動をする上での問題や課題

これまでの取組や文化施設の現状のほか、本ビジョン策定に際して実施した文化ホール利用者へのアンケートや文化芸術団体へのヒアリング、「長浜市文化芸術推進会議(#14)」にて出された意見等から、長浜市の文化芸術のソフト面とハード面それぞれの問題や課題が明らかになりました。

(ハード面の課題については、本ビジョンでは主に文化ホールについて取り上げます。)

ソフト面の主な問題点

- 文化芸術団体のメンバーの高齢化や活動する人が固定化するなど後継者が不足し、活動の広がりが生まれにくく、継続的な活動が難しくなっている。
- 文化芸術に対する理解や価値がなかなか広がらず、一部の人に留まっている。
- これから活動を始めようとする人や活動を広げようとする人など、文化芸術に関する相談窓口や個々の活動をつなぐサポート的な窓口がない。
- イベント情報や団体の活動情報など文化芸術に関する情報を、一元的にまとめて知ることができるツールがない。
- 市内では、年齢やしょうがいの有無など個々の状況に関わらず、誰もが文化芸術を体験できる機会や交流の機会がまだまだ限られている。



課題

- 多くの市民に、文化芸術の価値が理解され、より身近に感じられるよう、特に、幼少期から多様な文化芸術に触れる機会が充実していることが必要。
- 文化芸術活動をサポートする窓口が必要。
- 誰もが簡単に、市内で開催される文化芸術イベント等の情報を得られることが必要。
- 多世代、多分野、多様な人々が交流できる機会を増やし、文化芸術のすそ野を広げていくことが必要。

ハード面の主な問題点（特に文化ホールの問題点）

- 合併により、市主催行事の集約や利用可能施設の選択肢が増えた結果、文化ホールの利用に偏りがある。また、いずれのホールも200～500席までの小規模で、興行として採算が合う席数がないため、大型公演等の招致が難しい。
- 説明会や総会などの利用の多い文化ホールでは、高機能な舞台照明や音響設備等を必要としないため、文化ホールとその他の施設（まちづくりセンター等）の用途に応じた施設機能の使い分けが求められている。
- 7つの文化ホールは、いずれも建設から20年以上が経過し、設備の維持管理費や老朽化による修繕費等の経費が増大しているため、文化芸術事業全体の予算を圧迫している。
- 楽器演奏や合唱、演劇等の活動には、大きな音を出すことが可能な練習場所（防音の設備のない施設では難しい）や大型セットの制作、楽器等の大型備品を保管する場所、ピアノの設置などが必要であるが、会場の確保が困難なため、いつでも利用できる活動専用の場所が求められている。
- 公共施設の利用予約が簡単にできない。
（施設開館時のみの受付に限られるなど）



課題

- 市民の利用目的に応じた施設の充実に向け、文化ホール等の運用形態を見直すことが必要。
- 文化芸術団体等が、日常的に活動しやすい場所等を確保することが必要。
- いつでも簡単に予約できるように、施設予約のデジタル化を進めることが必要。

【参考】-----

#14 長浜市文化芸術推進会議（令和2年10月～開催） *会議詳細はP46 資料参照

本ビジョン策定のために、文化芸術関係者、学識経験者、市民代表、大学関係者や行政関係者など、多様な活動主体の代表者による懇話会を実施し、文化芸術に関わる様々な状況や将来について協議した会議。

2)求められていること

これまでにあげたソフト面やハード面の様々な現状や問題・課題に加え、文化芸術関係者等の意見を踏まえて、本市のこれからの文化芸術振興に求められていること・必要とされることを次のようにまとめます。

■文化芸術に求められていること・必要とされること

市民の誰もが文化芸術を親しみ愉しめること

幼少期から質の高い文化芸術が体験できること

文化芸術情報が手軽に受発信できること

文化芸術の価値やレベルが向上すること

文化芸術を通じた交流や連携が生まれること

文化芸術活動を行う施設環境があること

これら文化芸術振興に求められること・必要とされることへの対応は、市民や文化芸術団体、長浜市民芸術文化創造協議会など、文化芸術に関わるあらゆる関係機関や関係者がそれぞれ役割を担い、連携を深め、協働で取り組んでいくことが必要です。本ビジョンの推進についても、共に進めていきます。

■文化芸術振興に関わる活動主体



第6章 本ビジョンの基本的な考え方

1)めざす将来像

■将来像

豊かな文化芸術の力で 笑顔と魅力があふれるまち 長浜



文化芸術は、個々の感性や創造力を養うだけでなく、多様性を受け入れ、心や暮らしに潤いと誇りをもって生きる力をもたらします。そして、活動する人、鑑賞する人、活動を支える人、さらに、その地域を含め、全てを「豊か」にする力があります。

現在、人口減少や少子高齢化など、人々の心や社会の閉塞感による地域活力の低下が危惧されている中、文化芸術のもつ「豊か」にする力が、このような社会課題の解決にもつながるものと期待します。

このことから、市民や文化芸術団体、長浜市民芸術文化創造協議会など、文化芸術に関わる活動主体が連携して、誰もが文化芸術を親しみ愉しめるよう、活動のすそ野を広げ、心豊かな「市民の楽しみ(＝笑顔)」の輪を社会全体へと広げます。また、文化芸術が、観光やまちづくり、教育、産業といった様々な分野とつながることで、創造性豊かな「地域の魅力」を生み出し、将来にわたり地域活力のある長浜であり続けることを理念として、本ビジョンでめざす将来像を『豊かな文化芸術の力で 笑顔と魅力があふれるまち 長浜』とします。

*本ビジョンでは、文化芸術により得られる「たのしみ」を「楽しみ」と表現しています。
これは、文化芸術には、単に「楽しむ」だけでなく、心から「楽しむ」ことができる力があるとの考えによるものです。

2)ビジョンの基本方針

めざす将来像の実現に向け、前章までの文化芸術の課題や求められていることを注視し、市民や文化芸術団体等、本市の文化芸術に関わる様々な活動主体が、それぞれの役割をもって連携して取組を進めていくために、誰もが文化芸術を愉しめる機会を「つくる」、未来に向けて「育てる」、文化芸術活動を「支える」、活動する人と地域等を「つなぐ」という観点から、次の4点を基本方針として定めます。

■本ビジョンの基本方針

つくる

【基本方針 1】

市民の誰もが親しめる長浜らしい文化芸術の創造

文化芸術の振興には、市民の理解と文化芸術を親しむ土壌が必要です。市民の誰もが文化芸術を体験できる機会の充実や、質を高める取組、地域資源と融合した独自の文化芸術の創造など、市民のゆしみや喜びが生まれる基盤づくりを行います。

育てる

【基本方針 2】

文化芸術感覚の醸成

幼少期から文化芸術に触れる機会を充実させることにより、文化芸術の継承と未来の担い手の育成につながるばかりか、豊かな創造力や感性を育むことができます。また、日々の暮らしの中にある美意識、美的感覚(＝アート感覚)を育成し、私たちの日常生活をより美しく充実したものとしします。

支える

【基本方針 3】

市民や文化芸術団体の主体的な活動の支援

文化芸術活動の主役は「市民」です。活動を行う人が、主体的に活動が行える環境の整備やサポート体制、活動機会の充実を図り、市民や文化芸術団体の活動を支えます。

つなぐ

【基本方針 4】

文化芸術により 人や地域等がつながるコミュニティの形成

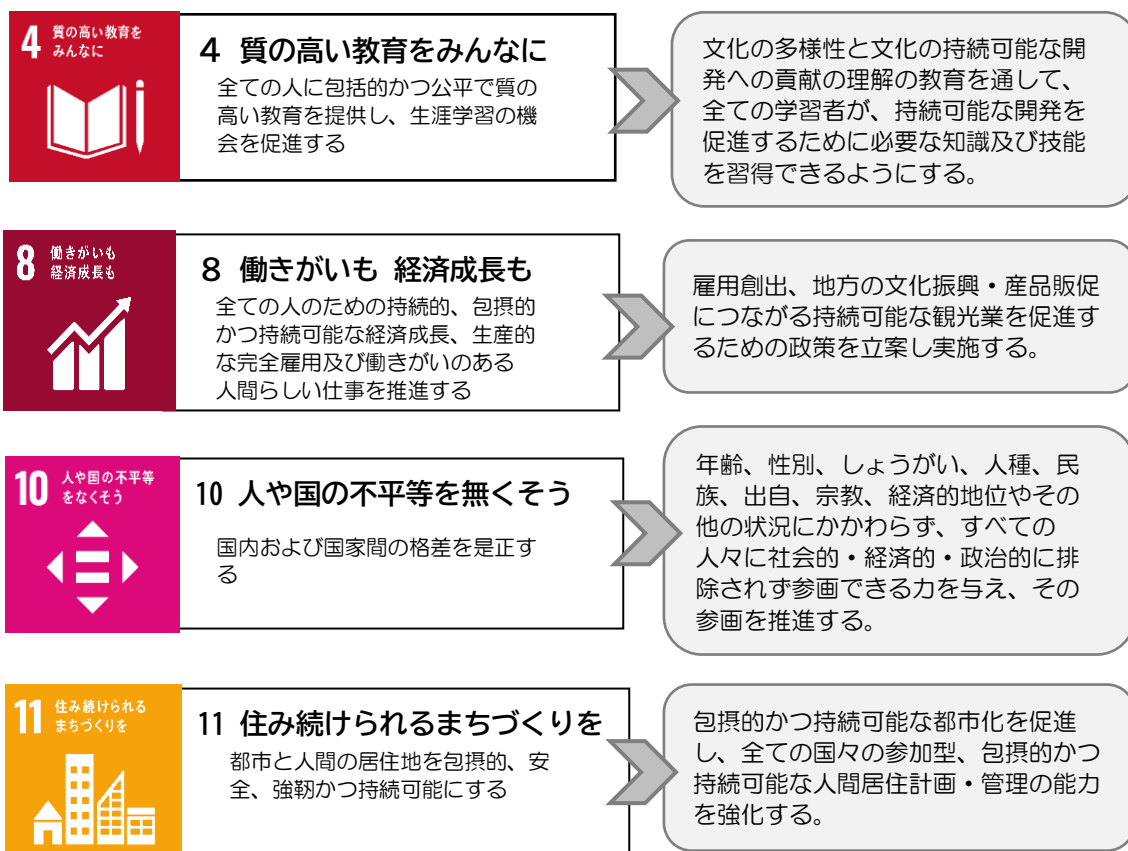
文化芸術には多様な主体をつなぐ可能性があります。人と人の関係性を深めることはもちろん、人と地域や、観光、産業等、多方面につながることでさらなる広がりを生み、新たな価値を創造します。

3)SDGs(持続可能な開発目標)の観点

SDGs(SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS)は、平成 27 年(2015 年)に国際連合で採択された国際目標であり、誰ひとり取り残さない持続可能な社会実現のため、17 のゴールと 169 の関連するターゲット(具体目標)が定められています。



文化芸術の分野においても、持続可能な社会の実現をめざし、SDGsの取組を進めることは、国際的問題の解決になるばかりか、多様な文化芸術の発展や継承につながることを期待され、SDGsの達成に向けて取組を進めます。



第7章 具体的な取組

1) 将来像の実現や基本方針の達成に向けて

前章で掲げた「将来像」の実現や「基本方針」の達成のために、今後 10 年間に取り組むべき施策を進めます。併せて、SDGs のゴール表示と各施策の目的である「市民のゆしみ(=笑顔)」及び「地域の魅力」についても表します。

つくる	市民の誰もが親しめる 長浜らしい文化芸術の創造	4 質の高い教育を みんなに	10 人や国の不平等を なくそう	11 住み続けられる まちづくりを
-----	----------------------------	-------------------	---------------------	----------------------

【施策】 ①誰もが文化芸術を体験できる機会を充実させる
②地域資源と融合した長浜独自の文化芸術を創造する
③文化芸術の質を高める仕組みを構築する

【施策①】 誰もが文化芸術を体験(鑑賞・参加)できる 機会を充実させる



文化芸術に触れることにより、私たちは喜びや感動を覚え、創造力が育まれるとともに、生きがいや生活への潤いが生まれます。より上質な文化芸術を体験することは、その人自身の感性やものごとを捉える感覚を豊かにし、人格形成にもつながります。

本市は、これまで、文化ホールでのオーケストラ等の音楽公演や演劇・伝統芸能公演、アウトリーチ事業の推進など、市民の文化芸術の鑑賞機会の充実を図ってきました。また、しょうがいがある人の社会参加の一環として、文化芸術の分野でも「共生社会<注4>」への取組が推奨され、県内はもとより市内でも活動が行われています。

今後も、市民の文化芸術の体験や鑑賞機会の充実に取り組み、年齢やしょうがいの有無、個々の状況等に関係なく、「ソーシャルインクルージョン<注5>」の考えのもと、市民の誰もが多様な文化芸術をより身近に親しむことができる環境づくりを進めます。

<注4> 共生社会…性別・年齢・しょうがいの有無・家庭環境等、様々な違いがある人々がそれぞれ自立し、疎外されことなく人間として生きることが承認され、支援体制が確立されている社会。

<注5> ソーシャルインクルージョン…全ての人々を、孤独や孤立、排除、摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合うという理念。

＜＜取組＞＞-----

- 文化ホール等での様々な公演の実施など、鑑賞の機会を充実させる
- 学校や福祉施設等へのアウトリーチ事業の推進を強化する
- 市民参加型の文化芸術の祭典イベントを推進する
- 年齢やしょうがいの有無など個々の状況に関係なく文化芸術を愉しめる環境づくりを推進する

【施策②】 地域資源と融合した長浜独自の文化芸術を創造する



本市には、びわ湖や余呉湖、山々をはじめとする豊かな自然や、歴史的建造物、古くから続く街並み、田園風景、観音文化や地域の祭り、人々の暮らしなど、地域の財産と言える数多くの地域資源があります。中には、私たち市民にとっては当たり前存在していることから、その魅力の認識と発信に乏しい資源もあります。

このため、新たな地域の発信強化の取組として、地域資源と多様な文化芸術とを融合させた長浜独自の文化芸術の創造を進め、地域の新たな魅力として発信し、本市への愛着や誇りの醸成を図ります。

＜＜取組＞＞-----

- 地域資源と文化芸術がコラボレーションした事業を推進する
- 文化芸術を通じて、地域の魅力再発見につながるような事業を推進する

【施策③】 文化芸術の質を高める仕組みを構築する

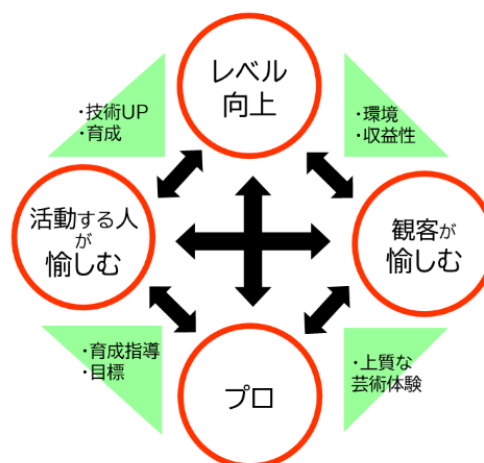


文化芸術の発展・技術の向上には、活動する人が愉しむことと、観客(観る人)が愉しむことの2つの「愉しむ」経験要素が必要です。

活動する人や団体が適切な指導等を受けることにより、技術や公演のレベル、そして個々の活動意欲の向上につながるばかりか、観る側の目も養われ、新たなファンを獲得し集客力が上がるなど、活動の自立化を図ることができます。そのためにも、アーティストによる質の高い公演の実施や技術指導など、本市の文化芸術レベルの底上げと後継者の育成を進め、幼少期から大人になるまで文化芸術を愉しむ土壌そのものが広がるような仕組みを構築することが必要です。併せて、公演レベルの向上には、舞台

を支えるスタッフの技術の向上や人材育成も求められます。これら文化芸術に関わる様々なレベルの向上のために、次世代等を対象とした講座などの取組を行います。

文化芸術に関わる人材の自立化も見据えた育成支援を進めることで、文化芸術の「楽しさ」を多方面に普及させ、文化芸術関係人口の拡大化を図ります。



＜＜取組＞＞ -----

- 文化芸術レベルの向上と指導者派遣の仕組みを構築する
- 文化芸術の分野で、国内外で活躍する市民を激励する

育てる	文化芸術感覚の醸成	4 目の悪い児童を みんなに 8 働きがいも 経済成長も 10 人や国の不平等 をなくそう
-----	-----------	--

- 【施策】①次代を担う子どもたちや若者たちの感性や創造力を育成する
 ②地域固有の伝統文化を継承・育成する
 ③日々の暮らしの中にある「アート感覚」を育成し、市民生活をより美しく充実させる

【施策①】次代を担う子どもたちや若者たちの 感性や創造力を育成する



本市の将来を担う子どもたちや若者たちの、個々にもっている能力や無限の可能性を引き出し、感性や創造力が豊かな人間形成を願い、文化芸術の体験機会の充実を図るために、「アウトリーチ事業」や「中高生えんげき CAMP！」などの次世代育成事業を積極的に実施しています。また、一般財団法人山岡記念財団主催による、世界的指揮者大植英次氏を招き中高生吹奏楽部員を対象としたレッスンコンサート等の開催など、文化芸術に親しみながら技術の向上を図る事業を進めてきました。他にも、40歳までの若手アーティスト達が、舞台製作や人材育成などの積極的な文化芸術活動を行っている「長浜文化芸術ユース会議」の活動を支援し、若者による長浜の文化芸術レベルの向上や普及を進め、若い力による地域活性へとつなげています。

今後も、学校、文化施設、地域、家庭等の様々な場所で、子どもたちや若者たちが文化芸術を体験できる機会や自発的な活動ができる場を創出することで、文化芸術を親しみ愉しめる事業を拡充し、子どもたちや若者たちの感性や創造力を育成します。

《取組》-----

- 幼少期や学童期から文化芸術に親しみ・参加する機会を創出するため、次世代向けの文化芸術事業を拡充する
- アウトリーチ事業等の充実・推進を強化する
- 子どもたちや若い世代の文化芸術活動を積極的に支援する
- 文化芸術を活用した人材育成を推進する

【施策②】 地域固有の伝統文化を継承・育成する



本市には、多くの文化財や長浜曳山まつりの「子ども歌舞伎」、人形浄瑠璃「富田人形」や「太鼓おどり」等の地域固有の伝統芸能・伝統行事、「浜仏壇」、「楽器系」、「輪奈ビロード」などの工芸・伝統技術等、郷土の歴史が育んだ数多くの伝統文化があります。どれも、次の時代に受け継いでいかなくてはならない大切な文化的資産です。子どもたちが、これらの伝統文化に身近に接することができる機会を創出するなど、郷土の特色ある歴史に興味・理解を深め、後継者育成につながる文化の継承に努めていくとともに、地域の文化的資産を有効に活用し積極的に発信していくことで、長浜独自の魅力あるまちづくりを進め、郷土を愛し、郷土を守る、ふるさと回帰の機運向上を図ります。

＜＜取組＞＞-----

- 子どもたちへの伝統文化・伝統芸能体験事業を推進する
- 本市の伝統文化や歴史を学ぶ機会を充実させる
- 伝統文化公演やイベントの開催機会を充実させる

【施策③】 日々の暮らしの中にある「アート感覚」を育成し 市民生活をより美しく充実させる



私たちの日々の生活の中には、様々な文化芸術があふれています。衣食住などの暮らし、農業、観光など、生活の営みの中にある数々の文化芸術を、ひとつのアート作品として、もっと美しく、もっとクリエイティブに感じる事ができれば、日常生活もより愉しく充実したものとなるのではないのでしょうか。市民生活のあらゆるモノ・コトを「アート＝文化芸術」とするアート感覚を育むことにより、ものごとに対する視野がさらに広がり、文化芸術への理解や地域資源の魅力の再認識、また長浜らしい文化芸術の発展へとつながります。

＜＜取組＞＞-----

- 市民のアート感覚の育成を目的とする事業を展開する
- 市民参加型の文化芸術の祭典イベント等を推進する

支える	市民や文化芸術団体の 主体的な活動の支援	10 人や団体の公平性をなくそう 11 住民がけられるまちづくりを
-----	-------------------------	--------------------------------------

- 【施策】①市民が主体となる多様な文化芸術創造事業を推進する
②文化芸術活動をサポートする機能を充実させる
③市民が利用しやすい文化芸術活動の場を整える
④デジタル環境の整備と情報発信力を強化する
⑤文化芸術団体の主体的な活動を支援する

【施策①】 市民が主体となる多様な文化芸術創造事業を推進する



本市では、文化芸術創造事業として、異なるジャンルの芸術活動を行う人たちが、活動の枠を越え共に制作する「市民オペラ」公演など市民参加型の事業や、湖北地域の音楽活動団体の発表の場となる「みんなで concerto(こんせ)長浜音楽祭」、「長浜市美術展覧会」等の開催により、市民の創作意欲や積極的な文化芸術活動を支援しています。さらに、民間団体による「アール・ブリュット作品展」や、長浜芸術版楽市楽座「アート・イン・ナガハマ」などが開催され、市民創出の多様な文化芸術活動も盛んに行われています。

今後も、市民が中心となった様々な文化芸術事業や活動を積極的に展開し、創造力や表現力の向上と長浜市の文化資質のレベルアップを図ります。

《取組》-----

- 市民文化芸術創造事業を積極的に推進する
- 文化芸術団体や個人の活動の活発化を図る
- 市民参加型の文化芸術の祭典イベントを推進する

【施策②】 文化芸術活動をサポートする機能を充実させる (長浜市民芸術文化創造協議会の機能の強化)



現在、本市の文化芸術事業の多くを実施し、長浜市の文化芸術事業を主導的に進める「長浜市民芸術文化創造協議会」は、市内の文化芸術団体と文化ホールの指定管理者、公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団による共同体組織です。様々な活動主体の連携である利点を活かし、団体間や芸術分野を越えた舞台製作などの市民

創造事業や次世代向け文化芸術事業など、数多くの事業を行っています。今後も、共同体制の連携を深め、本市の文化芸術の根幹を担っていきます。

さらに、活動を行っている人や団体、これから活動を始めようとする人たちと、市民や文化芸術関係機関、企業、行政等とを文化芸術のネットワークとしてつなぎ、相談窓口や情報の発信強化など、市民や団体の文化芸術活動のサポート機能を充実させます。

＜＜取組＞＞-----

■文化芸術活動をサポートするため、コーディネート機能、データバンク機能、人材育成機能、情報発信機能、文化芸術団体の事務局機能を強化する

【施策③】 市民が利用しやすい文化芸術活動の場を整える

(文化ホール等の活用整備の推進)



現在市内には 7 つの文化ホールがありますが、いずれの文化ホールも合併前に整備され、老朽化が進み、施設の維持にかかる経費等が年々増大化し維持管理していくことが難しい状況です。

さらに、新型コロナウイルス感染症のまん延により、様々な活動が制限される中、文化芸術活動を行う場の必要性や利用現状等がより明確となりました。

本市の将来を見据え、市民がより利用しやすい文化ホール等施設の活用方法の検討を進める必要があります。そのため、以前の「長浜市文化ホール有効活用計画」で掲げた「選択と集中」や「スマートシュリンク(賢明な縮小)＜注 6＞」の観点と、各地域の現状にあわせ市民活動に主軸においた、未来の長浜市に必要な文化ホールのあり方を再検討し具体的な実行に移していきます。

また、文化芸術の活動場所は、文化ホールに限られることはありません。まちづくりセンター等を有効に活用しながら、ホールとそれ以外の施設のすみ分けを行い、施設の管理運用形態の改善を図りながら、市内全域で市民の積極的な文化芸術活動が行われることを推進します。

＜注 6＞スマートシュリンク…絶対的な人口減少下の中でも住民の生活の質を維持・向上していくための概念。地域が積極的に公共事業や公共サービスの供給を効率化する一方、特異性を見出し地域間の競争力を確保するなどして「賢く縮小していく」考え方。

このため、文化ホールの活用方針を、次のとおりとします。

長浜市文化ホール活用方針

①【文化ホールとして当面継続運用】

長浜文化芸術会館	主に演劇・伝統芸能等舞台公演向きホールとして活用
浅井文化ホール	主に音楽公演向きホールとして活用

長浜文化芸術会館と浅井文化ホールについては、必要な改修等を適宜行いながら、引き続き文化ホールとして当面の間継続運用します。

ただし、長浜文化芸術会館については、本ビジョン計画期間の後期には築年数60年近くとなり、引続き継続利用していくには、かなり大規模な改修や設備更新が必要となり、事実上大変難しい状況です。

本市の文化芸術の未来を見据え、市民の理解や機運の醸成、文化芸術団体の連携の強化などを図りながら、人口減少や厳しい財政状況、そして近隣市の公共ホールの整備状況等の広域的な観点も踏まえて、本市の文化ホールの将来的な整備について検討を進めます。

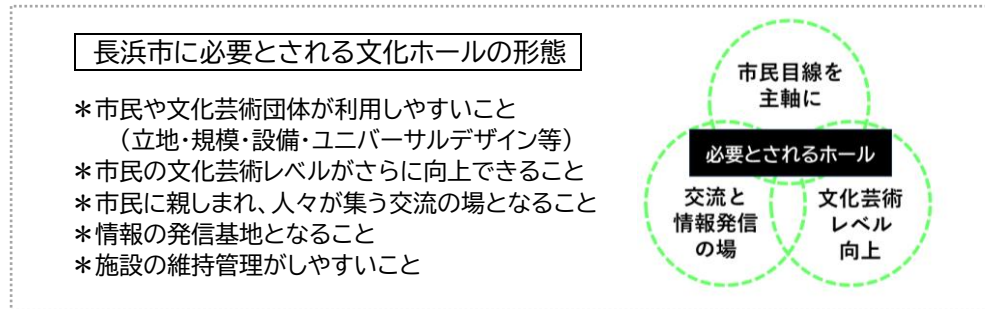
②【運用の見直し】 市民がより利用しやすい施設形態へ「用途変更」等を行う

びわ文化学習センター	市民がより利用しやすい施設形態に「用途変更」等を進める
虎姫文化ホール	
湖北文化ホール	
木之本スティックホール	
余呉文化ホール	

施設や利用の現状、市民利用の利便性向上の点から、各文化ホールが整備された当時の状況や地域の実情等にも配慮しつつ、地元住民や団体、関係所管等との協議を進め、今後は高機能で維持管理費が高額な文化ホールとして存続させていくのではなく、長浜市公共施設等総合管理計画に掲げられたまちづくり施設等、市民がより利用しやすい施設の形態へと用途変更等を行います。なお、変更時期については、各施設の状況等を踏まえ適宜進めます。

＜＜取組＞＞-----

- 各文化ホールの状況にあわせ、地元市民や関係団体等との協議を進め、具体的な活用整備を推進する（現存ホールの活用(用途変更等)と将来の新ホール整備の検討）



- 長浜文化芸術会館と浅井文化ホールをメインホールとしての管理及び運用を連携し、一体的な運営を図るため、指定管理者業務委託を一本化する
- 文化ホール以外での文化芸術活動を推進する

【施策④】 デジタル環境の整備と情報発信力を強化する



公演チケット等のインターネット予約や映像配信など、文化芸術の分野においてもデジタル化への流れが加速化しています。

第2章の本市の社会的状況の変化でも取り上げたように、スマートフォンの所有率の高さを活かし、本市でも施設予約や公演チケット予約のデジタル化など進めることで、文化芸術事業の周知や市民の利便性の向上を図ります。加えて、市内の文化芸術活動をまとめたプラットフォームの構築など、情報を一元化させ、長浜の文化芸術情報の発信力を強化します。

＜＜取組＞＞-----

- デジタルシステム導入による、利用者の利便性向上と文化ホール運用管理の効率化を促進する
- 市内の文化芸術情報を効果的に発信する
- 文化ホールのインターネット配信環境を整備する

【施策⑤】 文化芸術団体の主体的な活動を支援する



本ビジョン策定の際に、市内で活動する文化芸術団体等にヒアリング調査を実施した結果、「新規メンバーがいない」「メンバーの高齢化」や「練習場所の確保が困難」といった意見が多くあげられ、今後の活動への不安や、日常の練習場所や大型楽器などの団体所有備品の保管場所の確保等に苦慮されている状況がわかりました。

市民の文化芸術活動の基軸である文化芸術団体それぞれの活動が、より活発化し持続可能な形となるように、組織の活動支援のあり方の見直し等を進めます。

＜＜取組＞＞-----

- 文化芸術団体の状況にあわせ主体的な活動が行えるような支援を進める
- 文化芸術団体の日常の練習場所・備品保管場所が確保できるように「団体活動支援施設」の整備を進める
- 公共施設の利用予約システムの導入を進める

つなぐ	文化芸術により 人や地域等が つながるコミュニティの形成	8 働きがいも 経済成長も	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを
-----	---------------------------------	------------------	---------------------	----------------------

【施策】 ①市民や活動する人、文化芸術団体の交流機会を創出する
②他分野との連携による文化芸術の新たな価値を創造する

【施策①】 市民や活動する人、文化芸術団体の 交流機会を創出する



文化芸術を、市民がより身近に感じ、理解していくには、鑑賞や体験活動などを通じて、活動を行う人や団体との交流の機会を設ける必要があります。また、異なるジャンルの文化芸術活動を行う人同士の交流が盛んになることも、新たな芸術の創造へとつながります。様々な分野の文化芸術を一堂に会した「文化芸術フェスティバル」の開催など、市民と活動する人、活動団体、また活動する人同士が直接交流でき、気軽に出会える機会を創出します。また、交流範囲は市内だけに留まらず、広い視野をもって国内や海外などに向け連携した事業が行えるような環境づくりに努めます。

＜取組＞-----

■市民と活動する人が交流できる機会や文化芸術に出会えるイベント等を開催する

【施策②】 他分野との連携による 文化芸術の新たな価値を創造する



文化芸術のもつ力は、あらゆる方向に波及できる可能性があります。文化芸術の本来の美的表現以外に、観光や産業分野をはじめ、高齢者やしょうがい者福祉、子育て支援、教育、国際交流などの他分野と積極的に連携し、有機的に活用することで、文化芸術に新たな価値を生み出し、地域や経済の活性と関係人口の増加を図ることが出来ます。また、様々な事業主体との連携により、長浜市の文化芸術の基盤強化とレベルの向上も目指します。

＜取組＞-----

■他分野(観光・産業・教育・福祉・国際交流など)との連携を推進する
■地域資源と文化芸術がコラボレーションする事業を推進する

2) 具体的な取組

これらの施策を、市民や文化芸術団体等、多様な活動主体が連携・協力して推進を図る具体的な取組例を表します。また、策定後の本ビジョンの進捗の確認にも活用します。

【具体的な取組例】 *複数の施策に対応している取組例は☆マークで示しています。

*マークは、次項で示す重点プロジェクトの取組例です。

基本方針1【つくる】市民の誰もが親しめる長浜らしい文化芸術の創造

施策① 誰もが文化芸術を体験できる機会を充実させる		
■文化ホール等での様々な公演の実施など、鑑賞の機会を充実させる		
1	各ホールの特徴を活かし、オーケストラや和楽器などの音楽公演や演劇公演、伝統芸能公演等、1年を通じ多彩な公演の実施	
2	地域創造事業等の助成事業の積極的な活用	☆
3	文化ホール指定管理委託業務に大型の鑑賞型事業の委託を含めることで、委託期間内の計画的かつより効果的な事業を実施	
■学校や福祉施設等へのアウトリーチ事業の推進を強化する		
1	大学や文化芸術団体等と連携したアウトリーチ事業の推進(SDGs推進事業など)	
2	アウトリーチ事業のメニュー化と窓口等の一本化	☆
3	市内在住の子どもたちが等しく文化芸術を体験できるような取組の推進	☆
■市民参加型の文化芸術の祭典イベントを推進する		
	1 多種多様な文化芸術活動を一堂に会した「文化芸術フェスティバル」の開催	☆
	2 長浜芸術版楽市楽座「アート・イン・ナガハマ」等と連携したイベント等の開催	☆
	3 「ビエンナーレ<注7>」など全国レベルの文化芸術イベントとの連携や誘致の検討	☆
■年齢やしょうがいの有無など個々の状況に関係なく文化芸術を愉しめる環境づくりを推進する		
1	県「文化芸術による共生社会づくりの取組」等と連携した取組を実施	
2	誰もが利用しやすい文化施設やユニバーサルデザイン化の推進	
施策② 地域資源と融合した長浜独自の文化芸術を創造する		
	■地域資源と文化芸術がコラボレーションした事業を推進する	☆
1	寺院や古民家など地域施設を会場とした文化芸術活動の推進	☆
2	地域資源×文化芸術による商品等の開発・イベントの検討	☆
3	写真など様々な媒体を活用した地域魅力の発信(写真と観光のまちづくり等)	☆
■文化芸術を通じて、地域の魅力再発見につながるような事業を推進する		
1	アウトリーチ事業や文化芸術体験教室の積極的な実施	

<注 7>ビエンナーレ…2年に1回開催される美術展覧会。(例:BIWAKO ビエンナーレ)
他に、3年に1回開催される国際的な美術展覧会「トリエンナーレ」もある。

施策③ 文化芸術の質を高める仕組みを構築する		
■文化芸術レベルの向上と指導者派遣の仕組みを構築する		
	1 吹奏楽部員等を対象とした楽器演奏クリニックの実施	
	2 舞台スタッフ技術講座の開催	
	3 ジュニアアカデミー(吹奏楽・写真など)の検討	☆
	4 芸術大学等と連携した取組の強化	
■文化芸術分野で、国内外で活躍する市民を激励する		
	1 文化スポーツ国際大会等出場激励金制度の実施	
	2 長浜出身アーティストの情報発信、活動のPR	

基本方針 2 【育てる】文化芸術感覚の醸成

施策① 次代を担う子どもたちや若者たちの感性や創造力を育成する		
	■幼少期や学童期から文化芸術に親しみ・参加する機会を創出するため、次世代向けの文化芸術事業を拡充する	
	1 幼児・親子向けコンサート等、幼少期から文化芸術に触れる機会の充実	
	2 小中高校生の文化芸術活動の積極的な実施（吹奏楽祭、書初め展、えんげきCAMP!など）	
	3 企業や財団、大学等との連携による次世代向け事業の推進	
	4 ジュニアアカデミー(吹奏楽・写真など)の検討	☆
	5 「あしながほほえみプロジェクト(#15)」等の次世代支援活動の推奨	
	■アウトリーチ事業等の充実・推進を強化する	
	1 アウトリーチ事業のメニュー化と窓口等の一本化	☆
	2 市内在住の子どもたちが等しく文化芸術を体験できるような取組の推進	☆
	3 地域創造事業等の助成事業の積極的な活用	☆
	■子どもたちや若い世代の文化芸術活動を積極的に支援する	
	1 キッズアートフェスティバルの実施	
	2 子ども・若者文化活性化協議会事業の推進	
	■文化芸術を活用した人材育成を推進する	
	1 演劇やダンス等を活用した自己表現能力を磨く講座の開催	
	2 学生向けの演劇によるコミュニケーション教育<注8>の推奨	

<注 8>コミュニケーション教育…多様な社会の中で自己表現と他者の想いを理解できる、基本的なコミュニケーション能力の育成を目指し、演劇手法等を取り入れたワークショップ形式の授業。

施策② 地域固有の伝統文化を継承・育成する		
	■子どもたちへの伝統文化・伝統芸能体験事業を推進する	
1	アウトリーチ事業の積極的な推進	☆
2	伝統文化・伝統芸能体験講座の開催	
	■本市の伝統文化や歴史を学ぶ機会を充実させる	
1	歴史文化体験講座等の開催	
	■伝統文化公演やイベント開催機会を充実させる	
施策③ 日々の暮らしの中にある「アート感覚」を育成し、市民生活をより美しく充実させる		
🌸	■市民のアート感覚の育成を目的とする事業を展開する	
1	身近なアートを気軽に体験できる講座「市民アートカレッジ」事業の開催 (食文化や地域産業などをテーマに)	
🌸	■市民参加型の文化芸術の祭典イベントを推進する	☆
1	多種多様な文化芸術活動を一堂に会した「文化芸術フェスティバル」の開催	☆
2	長浜芸術版楽市楽座「アート・イン・ナガハマ」等と連携したイベント等の開催	☆
3	「ビエンナーレ」など全国レベルの文化芸術イベントとの連携や誘致の検討	☆

基本方針 3 【支える】市民や文化芸術団体の主体的な活動の支援

施策① 市民が主体となる多様な文化芸術創造事業を推進する		
	■市民文化芸術創造事業を積極的に推進する	
1	市民による創作舞台公演(市民オペラ等のコラボレーション企画)等の開催	
2	「長浜市美術展覧会」や「みんなでconcerto長浜音楽祭」など市民参加型事業の推進	
	■文化芸術団体や個人の活動の活発化を図る	
1	団体活動のPRや文化芸術情報の発信の強化	☆
🌸	2 文化芸術活動のサポート窓口の設置	☆
3	チャレンジ活動応援金の創設の検討(新たな取組をされる団体を応援)	☆
	■市民参加型の文化芸術の祭典イベントを推進する	☆
🌸	1 多種多様な文化芸術活動を一堂に会した「文化芸術フェスティバル」の開催	☆
2	長浜芸術版楽市楽座「アート・イン・ナガハマ」等と連携したイベント等の開催	☆
3	「ビエンナーレ」など全国レベルの文化芸術イベントとの連携や誘致の検討	☆

施策② 文化芸術活動をサポートする機能を充実させる(長浜市民芸術文化創造協議会の機能強化)					
★	■文化芸術活動をサポートするため、コーディネート機能、データバンク機能、人材育成機能、情報発信機能、文化芸術団体の事務局機能を強化する				
	1	コーディネート機能	文化芸術事業の推進・調整 文化芸術団体・文化芸術活動を行う人の相談窓口、情報提供、活動支援 等		
	2	データバンク機能	文化芸術団体・アーティスト情報のデータベース化		
	3	人材育成機能	研修会等の実施、アウトリーチ事業の取りまとめ 等		
	4	情報発信機能	市内の文化芸術事業の積極的かつ一元的な情報の発信	☆	
	5	文化芸術団体の事務局機能	文化芸術団体の活動を実務面でサポート		
施策③ 市民が利用しやすい文化芸術活動の場を整える(文化ホール等の活用整備の推進)					
★	■文化ホールの活用整備に関し、各施設別に地元市民や関係団体等との協議を進め、具体的な活用整備を推進する（現存ホールの活用(用途変更等)と将来の新ホール整備の検討）				
	1	(仮称)文化ホール活用検討委員会の設置・開催			
	2	(仮称)文化ホール活用整備アクションプランの策定			
	3	積極的な民間活用の検討			
■長浜文化芸術会館と浅井文化ホールをメインホールとしての管理及び運用を連携し、一体的な運営を図るため、指定管理者業務委託を一本化する					
★	■文化ホール以外での文化芸術活動を推進する				
	1	アウトリーチ事業の積極的な推進			☆
	2	文化芸術活動の練習場所等の整備 (文化芸術団体の日常の練習場所・備品保管場所となる「団体活動支援施設」を整備検討など)			☆
	3	文化ホール以外での活動の推進 (ホール以外の公共施設、民間施設、屋外施設等の積極的な活用) (寺院や古民家など地域施設を会場とした文化芸術活動の推進)			☆
施策④ デジタル環境の整備と情報発信力を強化する					
★	■デジタルシステム導入による、利用者の利便性向上と文化ホール運用管理の効率化を促進する				
	1	公共施設の利用予約システムの導入 (施設予約管理・料金決済システム等の導入検討)			☆
	2	公演チケット予約システムの導入 (チケット予約管理・利用決済システム等の導入検討)			
★	■市内の文化芸術情報を効果的に発信する				☆
	1	文化芸術関連プラットフォームの構築（情報の一元化）			
	2	ホームページ・SNSの活用強化（予約システムとの連動）			
	3	市内で活動するアーティスト・舞台公演・イベント・伝統芸能情報等の発信			
■文化ホールのインターネット配信環境を整備する					

施策⑤ 文化芸術団体の主体的な活動を支援する		
	■文化芸術団体の状況にあわせ、主体的な活動が行えるような支援を進める	☆
	1 団体活動のPRや文化芸術情報の発信の強化	☆
✿	2 文化芸術活動のサポート窓口の設置	☆
	3 チャレンジ活動応援金の創設の検討(新たな取組をされる団体を応援)	☆
✿	■文化芸術団体の日常の練習場所・備品保管場所を確保できるように「団体活動支援施設」を整備を進める	☆
	■公共施設の利用予約システムの導入を進める	☆

基本方針4【つなぐ】文化芸術により人や地域等がつながるコミュニティの形成

施策① 市民や活動する人、文化芸術団体の交流機会を創出する		
	■市民と活動する人が交流できる機会や文化芸術に気軽に会えるイベント等を開催する	
	1 アウトリーチ事業の積極的な推進	☆
✿	2 多種多様な文化芸術活動を一堂に会した「文化芸術フェスティバル」の開催	☆
	3 長浜芸術版楽市楽座「アート・イン・ナガハマ」等と連携したイベント等の開催	☆
	4 アーティスト・イン・レジデンス事業(アーティストの滞在型アート制作事業)の推奨	
	5 「ビエンナーレ」など全国レベルの文化芸術イベントとの連携や誘致の検討	☆
施策② 他分野との連携による文化芸術の新たな価値を創造する		
✿	■他分野(観光・産業・教育・福祉・国際交流など)との連携を推進する	
✿	■地域資源と文化芸術がコラボレーションする事業を推進する	☆
	1 寺院や古民家など地域施設を会場とした文化芸術活動の推進	☆
	2 地域資源×文化芸術による商品等の開発・イベントの検討	☆
	3 写真など様々な媒体を活用した地域魅力の発信(写真と観光のまちづくり等)	☆

【参考】-----

#15 あしながほほえみプロジェクト

子どもたちの文化芸術の鑑賞や体験機会の充実を目的に、市内の企業や団体等が出資協力をして、小中学生を対象に、文化ホールで開催される鑑賞型公演のチケットのプレゼントや伝統文化の体験教室等の開催をしている取組。

3)重点的に取り組むこと(重点プロジェクト)

前項までに示した施策の中でも、次の取組(施策)については「重点プロジェクト」として横断的かつ積極的に進めます。

【重点プロジェクト1】 市民の笑顔×倍増プロジェクト



文化芸術の鑑賞や体験活動などを通じ、心から文化芸術を愉しむことにより「笑顔」が生まれ、生きがいや人生の喜び、心の豊かさ等が育まれることを目的に、市民の誰もが日々の生活の中で気軽に文化芸術を経験し、感性や創造力を高める取組を積極的に推進します。

- 幼少期や学童期から文化芸術に親しみ・参加する機会の創出
(次世代向けの文化芸術事業の拡充)
- 市民の日常生活の中でのアート感覚を育成する「アートカレッジ」の実施
- 多種多様な文化芸術活動を一堂に会した「文化芸術フェスティバル」の実施
- 文化芸術活動のサポート機能の充実 (長浜市民芸術文化創造協議会の機能強化)
など

【重点プロジェクト2】 地域の魅力×生産プロジェクト



文化芸術により、本市の新たな「魅力」を見だし、地域が元気になる原動力となるだけでなく、さらなる地域の特徴・特性を生み出すことで、長浜市が将来にわたり「選ばれるまち」となる取組を推進します。

- 地域資源と文化芸術がコラボレーションする事業の推進
- デジタル環境の整備と情報発信力の強化
- 他分野(観光・産業・教育・福祉・国際交流等)との連携を推進する
など

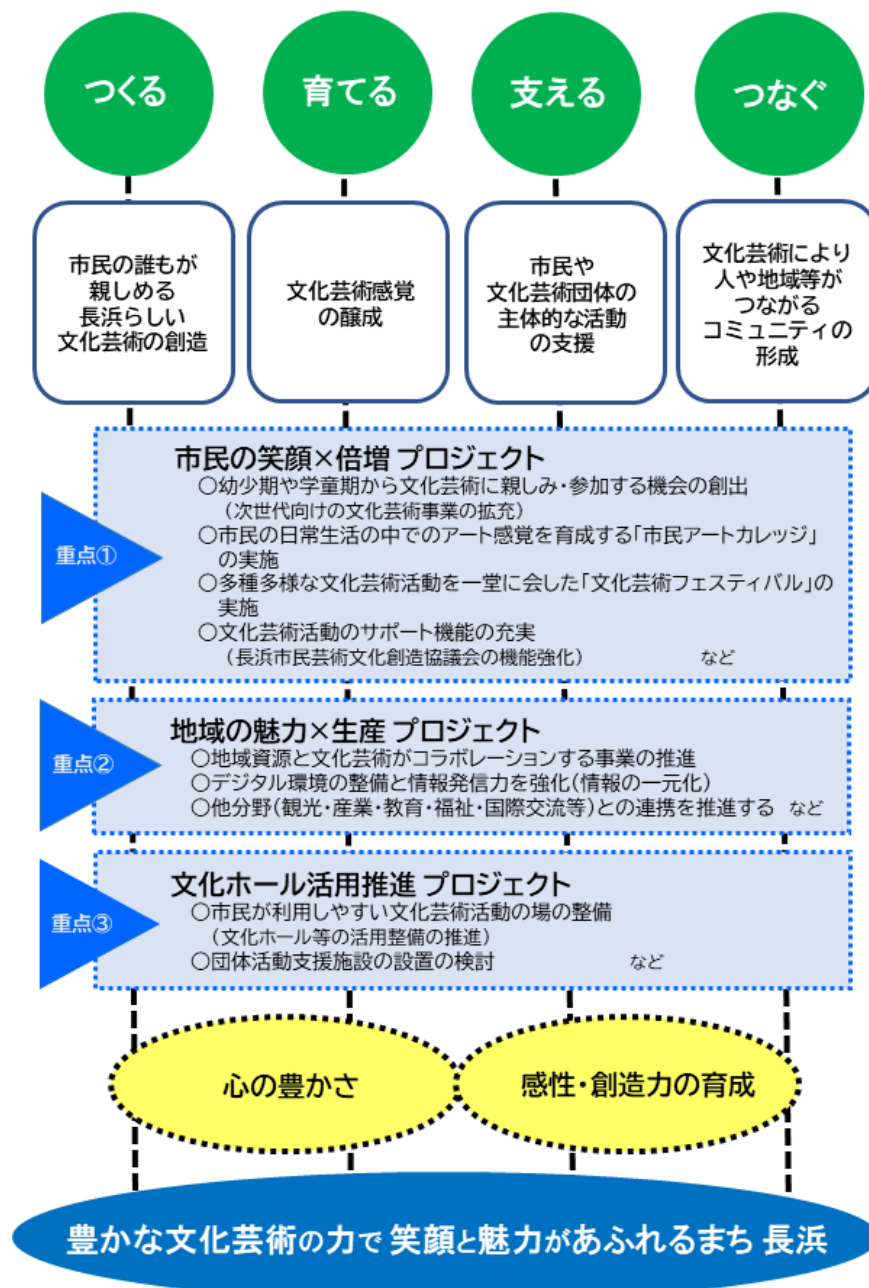
【重点プロジェクト3】 文化ホール活用推進プロジェクト



本市の将来を見据え、本ビジョンで掲げる「文化ホール活用方針」を基に、市民が利用しやすい活動の場の整備を進めます。

- 市民が利用しやすい文化芸術活動の場の整備 (文化ホール等の活用整備の推進)
- 団体活動支援施設の設置の検討
など

文化芸術に関わる市民や文化芸術団体、長浜市民芸術文化創造協議会などの活動主体が連携し、重点プロジェクトにあげる取組を中心に本市の文化芸術振興を積極的に進めることにより、市民の「心の豊かさ」や「感性・創造力の育成」を図り、長浜に深い愛着と誇りを感じる市民の意識(シビックプライド)の醸成や、本市に多方面で関わる関係人口を増加させるなど、地域が活気づき、市民の笑顔と魅力があふれる「活力のある長浜」であり続けることを目指します。



第8章 本ビジョンの推進体制

1)文化芸術に関わる活動主体とその役割

本ビジョンを推進していくために、市民をはじめ文化芸術団体、長浜市民芸術文化創造協議会などの多様な活動主体がそれぞれ役割を担い、連携して取り組みます。

①市民

文化芸術を愉しむことや応援することを通じて、本市に愛着と誇りを持つとともに、文化芸術の力で心豊かな長浜のまちを創りあげていく主役であり担い手です。

②アーティスト・活動する人

音楽や美術、演劇や伝統文化などの様々な文化芸術を、独自の感受性や創造性をもって表現する人です。創り出される作品は、観る者に感動や喜び、人生の目標設定に影響を与えることができるばかりか、その技術を伝えることで、市民や文化芸術団体の技能向上を図ることも可能です。

③文化芸術団体

同じジャンルや目的をもつ文化芸術活動を行う人が集まり、一緒に活動することにより、文化芸術の幅が広がります。また、各団体の積極的な活動により、文化芸術レベルを向上させるほか、生きる糧や愉しみを創出するなど、市民生活に大きな活力を与えることができる組織です。

④長浜市民芸術文化創造協議会(＝芸文協)

本市の主要な文化芸術振興事業を担っています。協議会内外での連携・協力をより強化して、市民創造事業や次世代育成事業、鑑賞型事業など各団体・施設の特徴を活かし長浜全域で文化芸術の普及・推進を押し進める共同体組織です。今後は、文化芸術活動を行う市民や団体、活動する人の身近な相談窓口や、積極的な情報発信、人材育成など、文化芸術活動のサポート的役割も担います。

⑤施設管理者

市内の施設の適切な管理運営を担当し、市民やアーティストの活動場所を提供します。文化ホールの施設管理者は「長浜市民芸術文化創造協議会」の一員として、長浜市全域での文化芸術振興事業の推進も担います。

⑥民間の企業・財団・団体

長浜市の文化芸術事業を共に進める協力者です。協働で文化芸術事業を推進し、本市の文化的価値の向上と地域の発展を進めます。

⑦大学・学校・園

共に文化芸術事業を推進し、子どもたちや市民の文化芸術感覚の育成に寄与するパートナー的存在です。今後も、あらゆる分野で連携を深め、事業の推進や人材育成を担います。

⑧市・行政

市民や文化芸術団体の主体的な活動を支援し、次代を担う子どもたちの育成や若者文化の発展、人材育成、伝統文化の保存継承など、本市の文化芸術の推進に努め、市民の誰もが文化芸術を愉しみ享受できる環境整備を進めます。

2)ビジョンの評価

文化芸術関係者や学識経験者からなる「(仮称)長浜文化芸術振興会議」を定期的に開催し、前章で掲げた具体的な取組の実施状況等を基準に、本ビジョンの進捗や方向性の確認を行います。また、市内全域を対象として実施している「市民意識度調査」等による市民の文化芸術に対する認識度の推移を検証し、文化芸術意識の変化等状況を確認します。

3)ビジョンの普及・啓発方法

本ビジョンは、本市ホームページや広報紙、長浜市民芸術文化創造協議会のホームページ、SNS 等で積極的な PR を図り、様々な意見を取り入れながら、文化芸術について市民の関心が高められるように努めます。

【資料】

長浜市文化芸術推進会議（R2.10～R4.2）

本ビジョンの策定にあたり、長浜市の文化芸術に関わりの深い文化芸術団体、施設管理者、企業財団、大学、学識経験者、市民代表、行政関係者等で構成する「長浜市文化芸術推進会議」を開催し、文化芸術の現状や問題課題、将来像について様々なご意見をいただいた。

■会議記録

	開催日	会場	内容・議題等
第1回	令和2年10月8日	長浜市役所	ビジョン策定趣旨説明
第2回	令和2年12月24日	さざなみタウン (長浜まちづくりセンター)	ソフト面の現状について
第3回	令和3年2月24日	長浜市役所	ソフト面のまとめ ハード面の現状について
第4回	令和3年5月26日	長浜市役所	ハード面のまとめ 分科会「将来像について」
第5回	令和3年7月27日	木之本スティックホール	ビジョン骨子案について
第6回	令和3年10月5日	湖北文化ホール	ビジョン素案について
第7回	令和4年2月18日	浅井文化ホール	ビジョン最終協議

■会議メンバー

*順不同

	所属		氏名
学識経験者	滋賀県立大学 名誉教授	座長	大橋 松行
文化芸術活動団体	長浜市民芸術文化創造協議会		橋本 圭祐
	長浜市文化芸術協会		伊吹 定一
	長浜音楽協会		柴田 正明
	長浜文化芸術ユース会議		磯崎 真一
	公益財団法人長浜文化スポーツ振興事業団		北村 敏雄
	公益財団法人びわ湖芸術文化財団		竹村 憲男
文化芸術活動協力団体	一般財団法人山岡記念財団		蚊野 正子
公募市民	市民代表		東野 昌子
	市民代表		兼子 貴絵
	市民代表		藤谷 玲子
	市民代表		一柳 忠彦
施設管理者	長浜文化芸術会館施設管理者（㈱ロハス長浜）		前川 和彦
	木之本スティックホール施設管理者（㈱ふるさと夢公社きのもと）		山表 雄二
大学関係者	長浜バイオ大学		奥村 忠一
	滋賀文教短期大学		藤山 あやか
	京都精華大学		島崎 一平

人事異動に伴い

R3.10～R3.3 まで

行政関係者	滋賀県文化スポーツ部 文化芸術振興課		見野 甚九郎
	長浜市教育委員会 すこやか教育推進課長		大田 久衛
	長浜市市民協働部長		江畑 仁資

R3.4 以降

行政関係者	滋賀県文化スポーツ部 文化芸術振興課		千秋 雅裕
	長浜市教育委員会 すこやか教育推進課長		宮本 安信
	長浜市市民協働部長		山内 芳博

文化ホール利用者アンケート結果

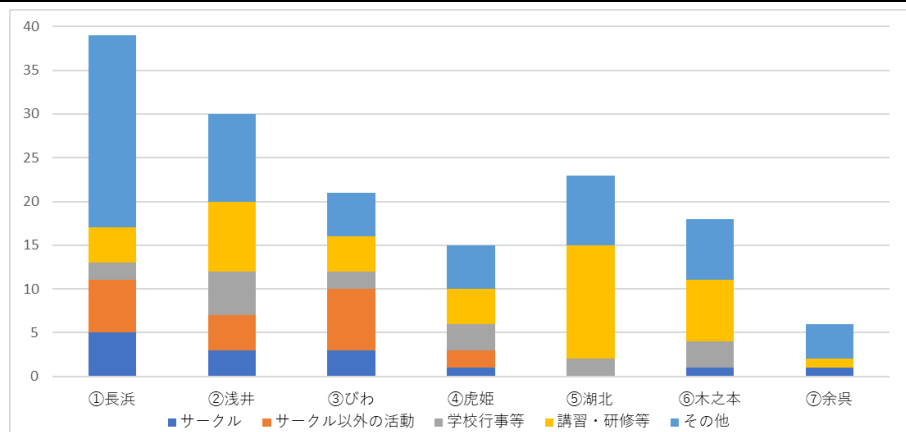
文化ホールの利用者(利用団体の代表者)に対し、施設の利用内容や利用頻度等についてアンケートを実施した。

- 実施期間 令和2年1月
- 対象者 平成31年4月～令和元年12月までの市内文化ホール利用団体の代表者(貸館利用者)
- 回答数 152
- アンケート内容・結果
 - 1)利用内容
サークル／サークル以外の活動／学校行事等／講習・研修等／その他
 - 2)利用頻度
週1回以上／月1回以上／年に数回／年1回／不定期(単発など)
 - 3)受付時の職員等の対応についてはいかがでしたか。
とても良い／良い／普通／あまり良くない／悪い
 - 4)施設の清掃状況、管理等についていかがですか。
とても良い／良い／普通／あまり良くない／悪い
 - 5)スタッフの対応も含めて、照明・音響等の舞台設備の利用はいかがでしたか。
とても良い／良い／普通／あまり良くない／悪い
 - 6)まちづくりセンターには多目的ホールがあります。利用されたことはありますか。
ある／ない／知らなかった
 - 7)長浜市の文化芸術振興に希望することがあればご自由にご記入ください。

①長浜文化芸術会館、②浅井文化ホール、③びわ文化学習センター、④虎姫文化ホール
⑤湖北文化ホール、⑥木之本スティックホール、⑦余呉文化ホール

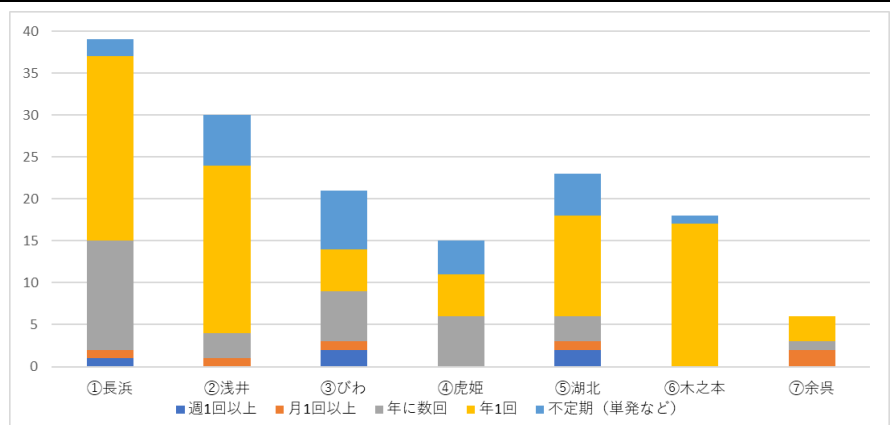
1) 利用内容

ホール	①長浜	②浅井	③びわ	④虎姫	⑤湖北	⑥木之本	⑦余呉
サークル活動	5	3	3	1	0	1	1
サークル以外の活動	6	4	6	2	0	0	0
学校行事等	2	5	2	3	2	3	0
講習・研修等	4	8	4	4	13	7	1
その他	22	10	5	5	8	7	4
合計	39	30	21	15	23	18	6



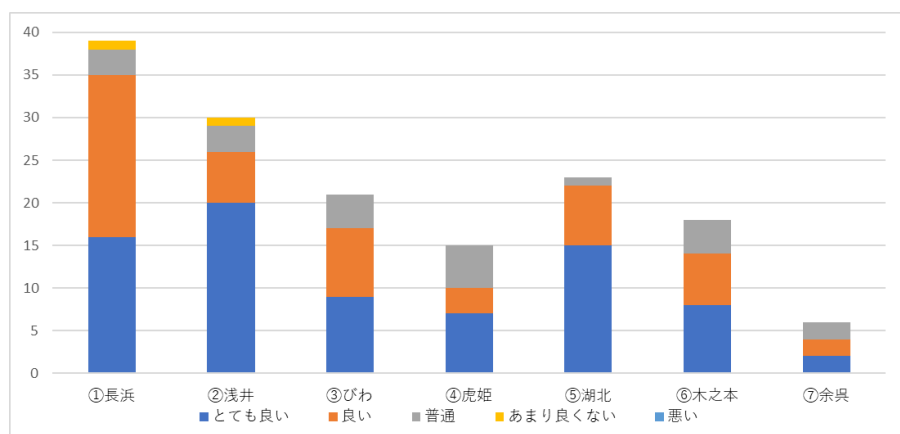
2) 利用頻度

ホール	①長浜	②浅井	③びわ	④虎姫	⑤湖北	⑥木之本	⑦余呉
週1回以上	1	0	2	0	2	0	0
月1回以上	1	1	1	0	1	0	2
年に数回	13	3	6	6	3	0	1
年1回	22	20	5	5	12	17	3
不定期(単発など)	2	6	7	4	5	1	0
合計	39	30	21	15	23	18	6



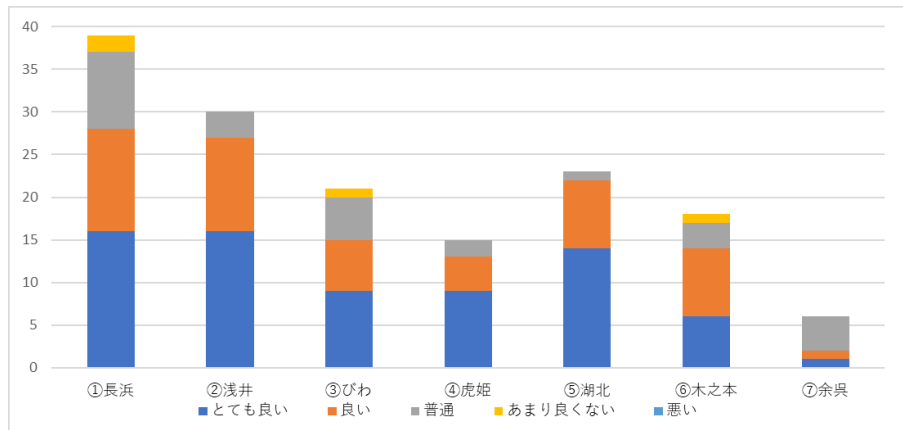
3)受付時の説明等職員の対応について

ホール	①長浜	②浅井	③びわ	④虎姫	⑤湖北	⑥木之本	⑦余呉
とても良い	16	20	9	7	15	8	2
良い	19	6	8	3	7	6	2
普通	3	3	4	5	1	4	2
あまり良くない	1	1	0	0	0	0	0
悪い	0	0	0	0	0	0	0
合計	39	30	21	15	23	18	6



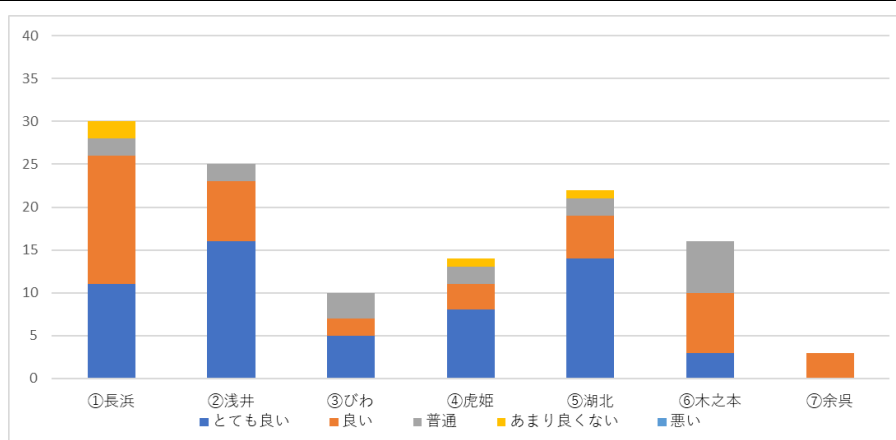
4)施設の清掃状況に・管理状況について

ホール	①長浜	②浅井	③びわ	④虎姫	⑤湖北	⑥木之本	⑦余呉
とても良い	16	16	9	9	14	6	1
良い	12	11	6	4	8	8	1
普通	9	3	5	2	1	3	4
あまり良くない	2	0	1	0	0	1	0
悪い	0	0	0	0	0	0	0
合計	39	30	21	15	23	18	6



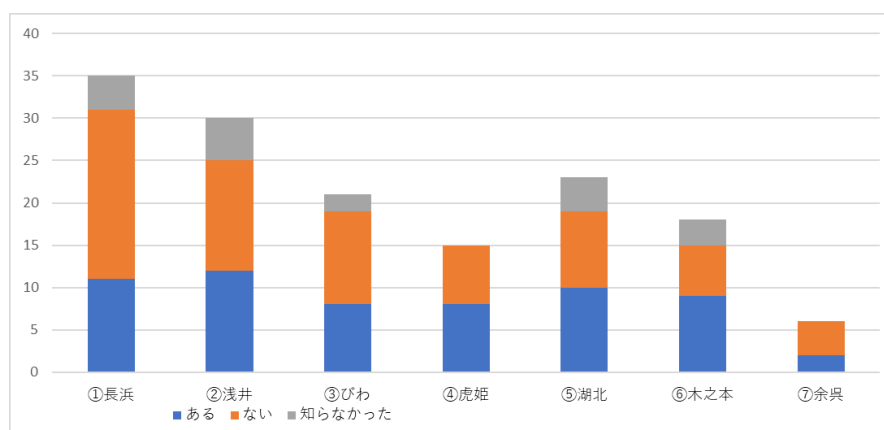
5) スタッフの対応も含めて照明・音響等の舞台設備の利用はいかがでしたか

ホール	①長浜	②浅井	③びわ	④虎姫	⑤湖北	⑥木之本	⑦余呉
とても良い	11	16	5	8	14	3	0
良い	15	7	2	3	5	7	3
普通	2	2	3	2	2	6	0
あまり良くない	2	0	0	1	1	0	0
悪い	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	25	10	14	22	16	3
無回答	9	5	11	1	1	2	3



6) まちづくりセンターには多目的ホールがあります。利用されたことはありますか。

ホール	①長浜	②浅井	③びわ	④虎姫	⑤湖北	⑥木之本	⑦余呉
ある	11	12	8	8	10	9	2
ない	20	13	11	7	9	6	4
知らなかった	4	5	2	0	4	3	0
合計	39	30	21	15	23	18	6



7)長浜市の文化芸術振興に希望することがあればご自由にご記入ください。

①長浜	美術展示スペースの充実、美術館設立
	利用率・集客率のためにも駐車場(会館専用)が必要と思います。
	個人が公的な場所で、芸術作品の発表をすることがもっと盛んになれば、市民の文化意識も高まると思います。一点、利用料がこれ以上高くないよう、市として頑張ってください。
	私も昔、美術の教師をしていた関係でよく展覧会を利用しますが、利用料が高額なのがとても残念です。長浜市の姿勢が問われます。
	シルバーの方がカラオケ歌謡祭に参加しているので使用料金を低くしてほしい。65歳以上が多い
	今後も、「長浜市の魅力」を全国、世界へと発信する事業を継続発展させて頂きたいと思います。
	姉妹都市との文化、芸術の交流の振興
	伝統文化の定期的な公演および人材を育成する為の基礎講座開設
	古典的、現代的、日本の様々な文化風土を肌身で感じられる楽しい、明るい長浜にしてください。
	文芸会館に代わる文化ホールを望む声はずっと以前から要望が市へ届けられているはずなのに、昨年度有識者会議を開いて「1000人規模のホールが必要」との答申は、今頃おかしいと思っています。
	余呉、木之本、湖北、虎姫、びわ、浅井、文芸、西浅井各ホールを使わせて頂きましたが、各々良い所もありますが、音楽ホールとしては客席数や来ていただける方の利便性等考えると、かなり問題があります。演奏する団体としても、音響や舞台動線、楽屋、親子室など各ホールとも問題があるように思います。施設数が多いので、施設維持管理等経済的にも大変ですが、早い時期に見直し(新しいホール建設)していただければありがたいです。
	文化芸術への関心や興味が市民全体に広がる必要があると思います
	いつもアートに熱く、ありがたいです。
	いつまでも利用できる事を望みます。
②浅井	私共は「ホームコンサート」を会場借りてやってる個人なので充分です。浅井ホールさんの様にスタッフ次第です。こちらの要望にどれだけ対応下さるかで決まってくるね。
	同じようなサイズのホールばかりなので、もう少し大きめの客席数の少し多いホールがあれば助かる。
	もっと大人数が入れる本格的な音楽ホールを作って欲しい
	高齢者のお楽しみ会が中心ではなく、青年たちのチャレンジとなる活動中心にしていければ！
③びわ	部活動等学校で利用する場合、もう少し費用を下げて欲しい
	以前利用させて頂いた時に、中学生の靴の泥が残っているので、掃除をしに来てくださいと言われて掃除に出たことがありました。どの団体でも、どのような場合でも、そうするのかなと思いました。
	電話予約が出来るようにして欲しい
	虎姫まちづくりセンターが、卓球台などを置いて自由、無料の居場所としてフリースペースを設けておられ、事務局の方も特別に暖かく接して下さり大好きなセンターです。高校生が遊びに来ていたり、地域に根付いていてとても良いと思いました。
④虎姫	長浜市は歴史ある地域ですので、今後ますます発展していけることを祈念しております。
	こういった活動への気持ちをお持ちの職員さん、スタッフさんがもっと居られると、長浜の文化芸術振興も一味違ったものになるだろうに…と思います。ホールもったいないです。
	出前講座等の充実をして欲しい。例えば 20人以上集まれば、生け花や絵手紙、水墨画、囲碁、歴史に関するお話等無料に近い金額で出前講座が出来ればと考え、相談を受けたこともあります。
	豊公園駐車場を利用して文化芸術会館に入るとき混雑し、道路での渋滞が目立つ。出入口を2ヶ所に増やす等の対応が必要。
	照明・音響のスタッフが少なく、一部の人の仕事が集中しすぎているように思います。照明・音響等を扱えるスタッフを増やして欲しいと思います。
	さざなみの多目的にはがっかり。あのコートの白線が、ピアノがある部屋の雰囲気を一発でぶち壊しですね。センスを疑います。
	1,000人クラスが入れる音響の良い芸術会館が欲しいですね。
⑤湖北	長い間、色々のセンターにお世話になりお育ていただけました事感謝いたします。その間に、職員の方との接点の大切さを学びました。
	たくさんホールがあっても利用されなければ意味がない
	中央的な文化ホールの検討よりも、既存の施設の整備や利活用の方が大切かと思う。
⑥木之本	同じ湖北地域の文化振興を担う立場として、一層のご発展を願うとともに、また協力させて頂けましたら幸いです。
	地元の芸術家の発表の場となるようなホール活用が望まれます。

	文化芸術にもっと力を入れて頂きたいです。健康寿命である為にも必要と考えます。
	木之本スティックホールはとても素晴らしい施設だと感じている。 ただ費用が高くてしまい気軽に利用しにくい。
⑦ 余 員	まちづくりセンターの多目的ホールと文化ホール研修室の使用料が違うのは何故ですか？

文化芸術団体へのヒアリングの結果

市内で活動される文化芸術団体に、現在の活動状況や将来への想いについてヒアリングを実施した。

■実施状況

団体名等	実施日	実施団体数等
長浜市民芸術文化創造協議会	令和2年12月21日	10
長浜文化芸術協会	令和2年 10 月 20 日	12
長浜音楽協会	令和2年11月26日	17
長浜文化芸術ユース会議	令和2年12月7日	8
合計		47

■確認内容・結果

- 1) 個々の活動について
- 2) 現在の活動状況について困っていることは何ですか？
- 3) 10年後の未来について
 - 個々の活動はどうなっていると思いますか？ または、どうなっているといいですか？
 - 10年後の長浜の文化芸術活動はどうなっているでしょうか？
(特に重要だと思うことは何ですか？)
- 4) 文化芸術を振興していくうえで、長浜に足りないものは何ですか？

1) 個々の活動について

活動のおかげで今でも元気に過ごすことができる
文化でもスポーツでも心の豊かさが得られる
活動を続けていけるうちは続け、地域を文化で盛り上げていきたい
自分の好きなことができる喜び
生活の一部になっている
活動を通じて知り合った人との交流はとても大切にしている
アウトリーチなどで子どもたちとの交流が持てることが新鮮に感じる

2)現在の活動で困っていること

メンバー	人員不足	メンバーが増えない
		新メンバーの加入がない
		生徒数が減少している
		人員不足・人材不足
		メンバーの男女比のバランスが取りづらい
	高齢化	メンバーの高齢化が激しいため、存続が危ぶまれる
		会員の高齢化による活動(サークル活動)への限界を感じている
		世代交代ができない
		若い世代のメンバーが入らない
	新型コロナ	新型コロナの影響でコミュニケーション不足を強く感じる
新型コロナで発表機会が減り、モチベーションが上がらない		
コロナによる練習時の対応等が大変		
施設	活動場所	練習場が固定できない
		楽器演奏等大きな音を出しても支障のない練習場所の確保
		新型コロナの影響で活動場所が利用できない
		荷物を保管する場所がない
		平日のホールの活用(私的な練習等どんどん活用できるように)
	予約	練習場所がなかなか予約できない
		施設の予約がネットなどで簡単になるといい(支払いまで)
	料金	利用料がこれ以上高くないよう、市として頑張ってください。
資金	楽器が高額なので負担がかかる	
	資金不足	
	活動補助制度がほしい	
指導者	しっかりと指導できる指導者不足	
	いい音楽にはいい指導者が必要	
団体運営	知名度が上がらない	
	進め方がわからない	
生活との両立	学業との兼ね合いでなかなか企画を優先できない	
	家庭や育児との両立	
ホール	文芸	利用率・集客率のためにも駐車場(文芸会館専用)が必要だと思う。
		文芸会館の音響が悪い(反響板がない)
	浅井	浅井ホール 交通が不便
		浅井文化ホールは交通の便が悪いので、団塊の世代が運転しなくなると大変不便になる
	ホール	市内に 7 ホールあり状態は異常(無理な状態) びわ・虎姫には技術者不在
		市内のホールは全て古い。
	さざなみの多目的室の壁がチラチラしていて気分が悪くなる。	

3)10年後の未来について

○個々の活動はどうなっていると思いますか？
または、どうなっているといいと思いますか？

活動の存続	現状維持	現状どおり活動できている
		湖北での活動が継続できるように
		これまでと変わらず劇団とユース会議を中心に演劇活動を続けていきたい
	メンバー	団員数が減らないように
		若い世代のメンバーが増え、幅広い年代で活動していきたい
		20～40代のメンバーを増やしたい
		湖北地域のメンバーだけでエキストラ無しで交響曲の演奏ができるように
	交流	長浜の若者を巻き込んだ活動(高校や大学ととも絡みたい)
		他団体との共演や訪問演奏などの機会が増え、メンバーのモチベーションが上がるように
	次世代	子どもたちの成長に合わせた地域での活動の場が必要
		ジュニアオーケストラ団体が組織化されている
		幼少期～高校生の時期 吹奏楽の知名度を上げておく
		市内の吹奏楽部がマーチングやコンクール等で有名校となり活躍し、知名度を上げてほしい。
		部活動の土日の活動は学校教育から切り離れた活動になるのでは
	環境	楽器庫を備えた練習場所の確保ができている
		団員がいつでも練習ができる環境が整っている
	プロ化	長浜市で生活しながら(活動拠点としながら)役者などの演劇活動のみを仕事として生計を立てていけるのか。というところが一番の課題
		芸術活動は仕事なのだということが周知できるか否かが、今後の大きな分かれ道である
不安視	存続できていないと思う	
	今のままでは消滅してしまう	
	10年後のことは考えられない	

○10年後の長浜の文化芸術活動はどうなっているのでしょうか？
(特に重要だと思うことは何ですか？)

市民主役	市民が主役となった芸術活動が進んでいくことが重要。
交流・環境	長浜市全域でひとつになれるような大きなイベントを開催する。
	市民が質の高い文化に触れる機会の充実
	クラシック音楽が自然と住民生活に溶けこんで、決して敷居の高いものでなくなっている
	いろいろなジャンルの文化芸術の、発表の場や気軽に観ること・参加できる場があるといい
	いろいろなジャンルの演奏会が頻繁に開催され、質の高い音楽を生で楽しむことができるように
	しょうがい者や外国籍の人など立場や特徴が異なる人も誰もが芸術を楽しめる環境
	幅広い年齢層が活発に活動・交流できるように

次世代への活動	市民が盛り上がり、子どもたちに文化芸術がしっかり根付く取組が必要。	
	アウトリーチが益々盛んに行われているように	
	アウトリーチや子ども向けコンサートを通じて音楽の楽しさを伝えていきたい	
	次代の文化を担う子どもの育成	
	子ども達の歌声で長浜が元気になるように	
	学校と市内の文化団体との交流の継続できているように	
	小学校、中学校でもっと音楽活動が盛んになり、若い世代が活躍できているように	
	若者を中心とした新たな文化の創造と人材育成	
	地域で文化活動を担う人材を確保していくこと。	
	若い世代が好む有名人を招いたイベントの開催(草津市のイナズマロックフェスのような)	
伝統文化の継承	伝統文化の保存と継承、担い手育成、鑑賞機会の充実	
	伝統文化の定期的な公演および人材を育成する為の基礎講座開設	
	古典的、現代的、日本の様々な文化風土を肌身で感じられる楽しい、明るい長浜にしてほしい	
	伝統文化との一体化した取組(文化芸術ー伝統芸能ー生涯学習 横の繋がりを)	
まちづくり	文化やアートで「長浜」を大きく PR できるような取組	
	文化芸術を活かした魅力あるまちづくり、長浜の活性化	
ホール	新ホール建設	1000 人規模のコンサートホールの建設
		同じようなサイズのホールばかりなので、もう少し大きめの客席数の少し多いホールがあれば助かる。
		新しいホールは交通の便がいいところであることが必要
	ホールの活用	地元の芸術家の発表の場となるようなホール活用が望まれる
		文化施設はまちのシンボリック的存在。活性化につながる
		ホールは拠点として必要。
		ホールの利活用 ホールとまちセンでは求められるものが異なる
		建物があればいいということではない。いかにソフト面を充実させていくかが必要
		市民の利便性をしっかり考慮すべき
		芸術はホールで行うことだけではない。(野外なども考慮できる)
		コロナ禍の中、野外ホールなどを検討することも必要ではないか
		市内でよく似た鑑賞事業があるので、開催するホールを固定することなく年ごとに場所を変えて事業をしてみてもいいのではないか
団体活動	存続していくためにも、文化協会の支部の在り方を見直す必要がある(長浜全体を考え旧町に拘らず、華道や詩吟など活動分野別に再編するなど)	
	市内の少年少女合唱団が連携できていない(団の成り立ちが異なるため)、今後は協力して一緒にイベント等ができればいい。	
	単なる発表会を繰り返しているようではダメ。エンターテインメント性の加味もそれぞれの団体が考えていく必要がある	

4)文化芸術を振興していくうえで、長浜に足りないものは何ですか？

環境	気軽に舞台芸術・芸術作品に触れることができる土壌
	次代の新しい文化と伝統ある文化を交え売り出す新しい文化の創作
観客のレベル	文化の敷居を下げる(広く浅く・狭く深く)
	芸術活動者だけでなく、観客側の目が肥える必要もある
	演者だけでなく観客の目を養う事
	市民が芸術をジャッジする目
	市民が文化芸術にお金を払うという意識
施設設備・利用方法	小規模な公演やコンサート、個展等が開催しやすい、安価で中小規模の施設の充実
	⇒低予算・小規模でも発表の機会を増やし、文化活動の活発化・活性化が必要
	⇒高校生、大学生でも活動を展開できる環境の整備
	文化活動の場として施設をいかに利用していくか
	⇒舞台本番時だけでなく、練習でも気軽に利用できるように(利用料金補助など)
	これからの対応としてリモート配信が可能なように、Wi-Fi 設備やキャッシュレス対応
PR 力	PR を増やし、より多くの方に取組を伝えること
計 画 長期的	長期スパン(10 年単位)で事業に取り組める組織的、経済的な体制
	芸術監督をにおいて長期にわたる計画を立ててほしい

長浜市文化芸術振興ビジョン

令和 4 年 3 月

発行 滋賀県長浜市

◆問い合わせ先

〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町 632 番地

長浜市 市民協働部 生涯学習文化課

電話:0749-65-6552

E-mail:syoubun@city.nagahama.lg.jp